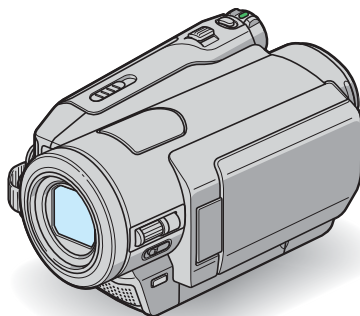
SONY®

3-278-987-**05** (1)

デジタルHDビデオカメラレコーダー

HANDYCAM®

取扱説明書

HDR-HC9

HDV 1080i

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

→99〜101ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら 煙が出たら	➡	**❶ 電源を切る** **❷ 電池をはずす** **❸ ソニーの相談窓口に連絡する**

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機には2種類の取扱説明書があります。

- 取扱説明書（本書）
- パソコンと接続して使用するための「ファーストステップガイド」（付属のCD-ROM内）

本機で使えるカセットについて

Mini DV マーク付きミニDVカセットが使えます。カセットメモリー機能には非対応です（詳しくは88ページ）。

本機で使える"メモリースティック"について

本機では次のマークのついた"メモリースティック"が使えます(詳しくは89ページ)。

- MEMORY STICK DUO（"メモリースティック　デュオ"）
- MEMORY STICK PRO DUO（"メモリースティック　PRO　デュオ"）
- MEMORY STICK PRO-HG DUO（"メモリースティック　PRO-HG　デュオ"）

"メモリースティック　デュオ"（本機で使用するサイズ）

"メモリースティック"（本機では使用できません）

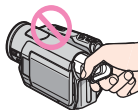
- "メモリースティック　デュオ"以外のメモリーカードは使用できません。
- "メモリースティック　PRO　デュオ"は"メモリースティック　PRO"対応機器でのみ使用可能です。
- 使用可能な"メモリースティック　デュオ"の最新情報についてはホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください（裏表紙）。
- "メモリースティック　デュオ"本体およびメモリースティック　デュオ　アダプターにラベルなどは貼らないでください。

"メモリースティック　デュオ"を"メモリースティック"対応機器で使用する場合

必ず"メモリースティック　デュオ"をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。

メモリースティック　デュオ　アダプター

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

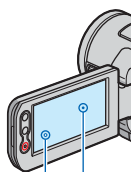
- 次の部分をつかんで持たないでください。

ファインダー

液晶画面

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取扱いについて」もご覧ください（93ページ）。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

次のページへつづく→

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

本機やバッテリーの温度に関するご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます(84ページ)。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合、記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声が乱れた場合、画像や音声などの記録内容及び、撮影機会の損失に対する保証についてはご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

他機での再生に際してのご注意

HDV規格で記録したテープは、DV規格のビデオカメラやミニDVデッキでは再生できません(青一色の画面になります)。
他機で再生する前に本機で再生して、テープの内容を確認することをおすすめします。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT*コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

MTF=Modulation Transfer Functionの略。

コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

目次

文中のマークについて

HDV1080i HDV 規格だけで使える機能です。
DV DV 規格だけで使える機能です。

次のページへつづく➡

ダビングや編集をする

パソコンとつなぐ

困ったときは

その他

安全のために 99

各部のなまえ·索引

HDV規格で撮ってみよう！

HDV規格で撮る醍醐味

とってもきれい

本機はHDV規格に対応し、高精細で臨場感あふれるハイビジョン映像を撮影することができます。

HDV規格とは？

HDV規格とは、現在普及しているDV規格のカセットテープを使ってハイビジョンの映像を撮影、再生するための映像規格です。

- **本機では、「HDV規格」の中で、有効走査線数1,080本を実現するHDV規格の1080i方式を採用しています。**記録時の映像ビットレートは約25Mbpsです。

有効走査線数1,080本

- 本書では、とくに説明する場合を除き、HDV1080i方式のことをHDVと書きます。

なぜHDV規格で撮るの？

映像の世界がデジタル方式へと移行していくなかで、大切な場面をHDV規格で撮影しておくことで後々まで高画質な映像をお楽しみいただくことができます。
従来のワイドテレビや4:3テレビでも本機のダウンコンバート機能により、HDV規格の画像をSD（標準）画質で再生できるので、ハイビジョンテレビをお持ちでないかたも将来に備えてHDV規格で撮影することをおすすめします。

- ダウンコンバートとは、HDV1080i方式非対応のテレビやビデオ機器と本機をつないだときに、HDV規格の映像をDV規格に変換して再生、編集を可能にする機能のことです。画質はSD（標準）画質になります。

HDV規格で撮影した画像を楽しもう！

ハイビジョンテレビで見る（31ページ）

HDV規格で撮影した画像を高精細で鮮やかなHD（ハイビジョン）画質で再生できます。

• HDV1080i方式（i.LINK）対応のテレビについては、31ページをご覧ください。

ワイドテレビ/4:3テレビで見る（33ページ）

HDV規格で撮影した画像を本機でダウンコンバートして、従来のテレビで見ることができます。画質はSD（標準）になります。

ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングする（62ページ）

HDV1080i方式対応機器とつなぐ

i.LINKケーブルでつないでHD（ハイビジョン）画質でダビングができます。

HDV1080i方式以外の機器とつなぐ

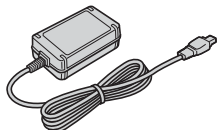
HDV規格で撮影した画像を本機でダウンコンバートして、SD（標準）画質でダビングできます。

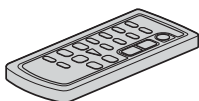
パソコンにつなぐ（70ページ）

付属のソフトウェアを使って、テープの動画や“メモリースティック　デュオ”の静止画をパソコンに取り込むことができます。取り込んだ動画を編集してSD（標準）画質のDVDビデオを作成することもできます。

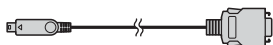
準備1:付属品を確かめる

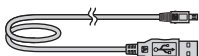
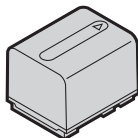
箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
(　)内は個数。

ACアダプター(1)(10ページ)

電源コード(1)(10ページ)

ワイヤレスリモコン(1)(105ページ)

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

A/V接続ケーブル(1)(30、62ページ)

D端子コンポーネントビデオケーブル(1)(30ページ)

i.LINKケーブル(1)(30、62、65、73ページ)

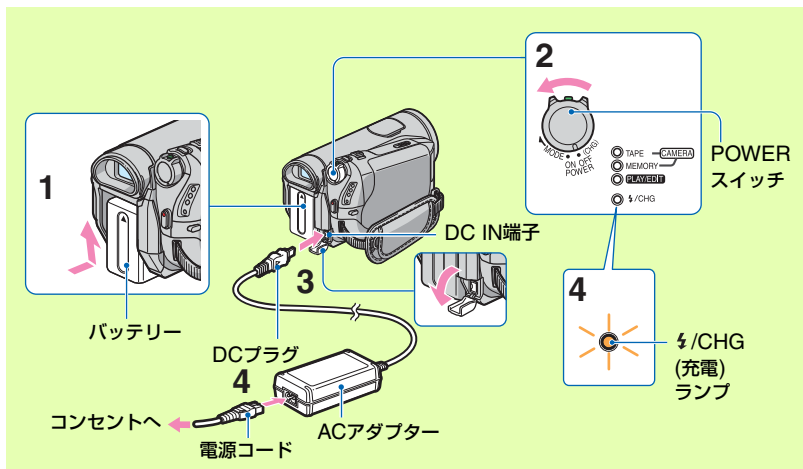
USBケーブル(1)(68ページ)

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH60(1)(10、91ページ)

レンズフード(1)(104ページ)

フラッシュや、Nightshot、Super Nightshotを使用するときはレンズフードを取りはずしてください。
取り付けたまま使用すると、画面にレンズフードの影がうつりこみます。

CD-ROM「Handycam Application Software」(1)(72ページ)

取扱説明書 <本書> (1)

保証書(1)

準備 2：バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー(Hシリーズ)(91ページ)を本機に取り付けて充電します。

ご注意

- "インフォリチウム"バッテリーHシリーズ以外は使えません。

1 バッテリーを取り付ける。

バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして、取り付ける。

2 POWERスイッチを「OFF(CHG)」(お買い上げ時の設定)にする。

3 DCプラグの▲マークを本体の▲マーク側にして、ACアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

4 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

/CHG（充電）ランプが点灯し、充電が始まります。充電が終了すると、/CHG（充電）ランプが消えます（満充電）。

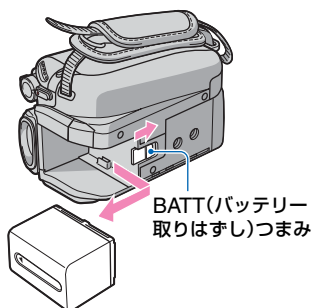
ご注意

- DCプラグを本機のDC IN端子から抜くときは、DCプラグと本機を持って抜いてください。

ちょっと一言

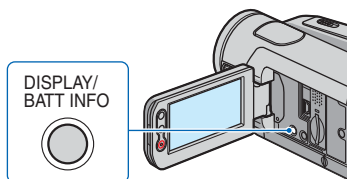
- 図のように接続して、コンセントからの電源で本機を使うこともできます。バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

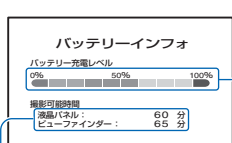
バッテリーを取りはずすには

POWERスイッチを「OFF(CHG)」にする。BATT（バッテリー取りはずし）つまみをずらしながら、バッテリーを取りはずす。

保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する(91ページ)。

バッテリーの残量を確認するには

POWERスイッチを「OFF(CHG)」にしたあと、DISPLAY/BATT INFOボタンを押す。

しばらくすると、バッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間にボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できます。

およそのバッテリー残量

およその撮影可能時間

バッテリー残量は本機の液晶画面上で以下のように表示されます。

残量表示	バッテリー残量の目安
	充分ある。
	少なくなった。撮影、再生がもうすぐできなくなる。
	充電済みのバッテリーと交換するか、充電する。

充電時間

使い切った状態からのおよその時間(分)。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FH50	135
NP-FH60(付属)	135
NP-FH70	170
NP-FH100	390

撮影可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDV規格で撮影したとき

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FH50	70	40
	70	40
	75	40
NP-FH60(付属)	90	50
	95	50
	100	55
NP-FH70	150	80
	155	85
	160	85
NP-FH100	345	185
	365	195
	375	205

準備する

次のページへつづく→

DV規格で撮影したとき

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FH50	70	40
	75	40
	80	45
NP-FH60(付属)	95	50
	100	55
	105	55
NP-FH70	155	85
	165	90
	170	90
NP-FH100	365	195
	385	210
	395	215

* 実撮影時とは、撮影スタンバイ、POWER スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

ご注意

- それぞれの時間は、次の条件によるものです。
  上段:液晶画面バックライトが「入」のとき
  中段:液晶画面バックライトが「切」のとき
  下段:液晶画面を閉じてファインダーを使用したとき

再生可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDV規格の画像を再生したとき

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-FH50	105	120
NP-FH60(付属)	140	160
NP-FH70	230	255
NP-FH100	525	590

DV規格の画像を再生したとき

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-FH50	115	130
NP-FH60(付属)	150	170
NP-FH70	245	280
NP-FH100	565	635

* 液晶画面バックライトが「入」のとき

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にしてから行ってください。
- 次のとき、充電中の⚡/CHG(充電)ランプが点滅したり、バッテリーインフォ(11ページ)が正しく表示されないことがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーが劣化しているとき(バッテリーインフォ表示のみ)
  – バッテリーの温度が低いとき
  バッテリーをはずして暖かいところに置いてください。
  – バッテリーの温度が高いとき
  バッテリーをはずして涼しいところに置いてください。
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- ビデオライト(別売り)を取り付けたときは、バッテリーNP-FH70/NP-FH100のご使用をおすすめします。

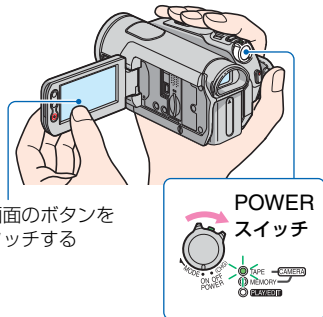
充電/撮影/再生時間について

- 25℃(10℃~30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。

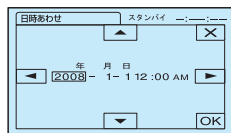
ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備 3：電源を入れて日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、POWERスイッチを切り換えるたびに［日時あわせ］画面が表示されます。

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを矢印の方向へずらして、使用するモードの電源ランプを点灯させる。

「CAMERA-TAPE」：テープに撮影時
「CAMERA-MEMORY」："メモリースティック　デュオ"に撮影時
「PLAY/EDIT」：再生や編集時

日時あわせ画面が表示される。

2 ▲/▼で［年］を合わせる。

2079年まで設定できます。

3 ►で［月］に移動し、▲/▼で合わせる。

4 同様に［日］、時、分を合わせる。

真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

5 設定された日付時刻を確認し、OKをタッチする。

時計が動き始めます。

電源を切るには

POWERスイッチをずらして、「OFF(CHG)」にする。

日付時刻を設定し直すときは

P.メニュー→▲/▼→［日時あわせ］で設定できます（36ページ）。

ご注意

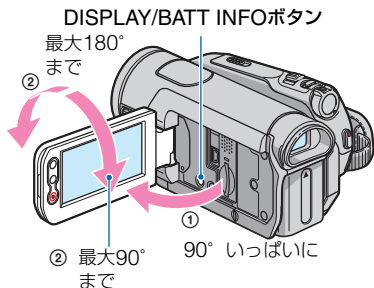
- 3か月近く使わないでおくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください（95ページ）。
- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます（［自動電源オフ］、59ページ）。

ちょっと一言

- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にテープに記録され、再生時に表示させることができます（［日時/カメラデータ表示］（かんたん操作時は［日時データ表示］）、58ページ）。
- POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」または「CAMERA-MEMORY」にしたときはレンズカバーが開きます。
- 反応する液晶画面のボタンの位置がずれているときはタッチパネルを調節（キャリブレーション）してください（94ページ）。

準備4：撮影前の調節をする

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

液晶画面バックライトを消してバッテリーを長持ちさせるには

DISPLAY/BATT INFOボタンを［バックライトOFF表示］が表示されるまで数秒間押したままにする。明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせたいときに効果的です。録画される画像には影響ありません。
解除するにはもう1度［バックライトOFF表示］が消えるまで押したままにする。

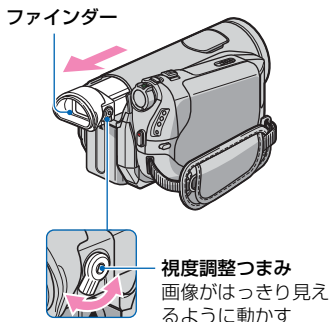
ご注意

- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面の横のボタンを誤って押さないよう、ご注意ください。

ちょっと一言

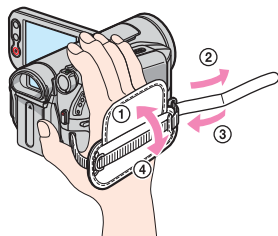
- 液晶画面をレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。
- 液晶画面の明るさは、[パネル･VF設定]－[パネル明るさ]（56ページ）で調節できます。
- DISPLAY/BATT INFOボタンを押すたびに、バッテリー残量などの情報が表示⇔非表示と切り替わります。

ファインダーを見やすく調節する

バッテリー切れが心配なときや液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。

ちょっと一言

- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの[パネル･VF設定]－[VFバックライト]で設定できます（56ページ）。

グリップベルトを調節する

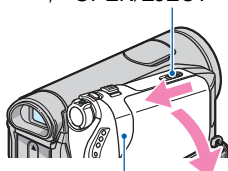
グリップベルトを図の順番にしっかりと締め、正しく構える。

準備 5：カセットや"メモリースティック　デュオ"を入れる

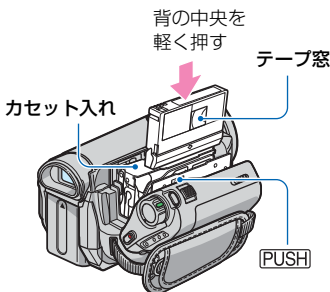
カセットを入れる

Mini DV マーク付きミニDVカセットのみ使えます（88ページ）。

ご注意

- [録画モード]によって、録画可能時間は異なります（55ページ）。DV

1 OPEN/EJECT つまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。

カセット入れが自動的に出て開きます。

2 テープ窓を外側にして、カセットを入れ、PUSH マークを押す。

カセット入れが自動的に収納されます。

3 カセットカバーを手で閉める。

カセットを取り出すには

手順**1**と同じ操作でカセットカバーを開けて、カセットを取り出す。

ご注意

- **カセット入れが引き込まれているときに DO NOT PUSH の刻印部分を押さないでください。無理に押し込むと故障の原因になります。**

準備する

"メモリースティック　デュオ"を入れる

本機では次のマークのついた"メモリースティック"が使えます(詳しくは89ページ)。

- MEMORY STICK DUO ("メモリースティック　デュオ")
- MEMORY STICK PRO DUO ("メモリースティック　PRO　デュオ")
- MEMORY STICK PRO-HG DUO ("メモリースティック　PRO-HG　デュオ")

ちょっと一言

- 画質や画像サイズによって撮影可能枚数は異なります。撮影枚数については48ページをご覧ください。

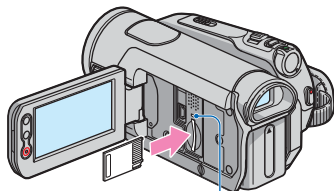
1 液晶画面を開ける。

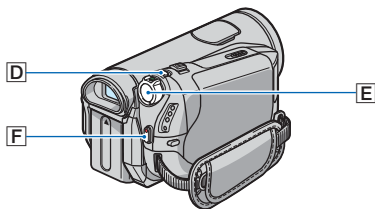
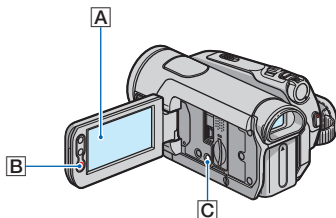
2 "メモリースティック　デュオ"を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。

"メモリースティック　デュオ"を取り出すには

"メモリースティック　デュオ"を軽く1回押して取り出す。

ご注意

- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、"メモリースティック　デュオ"やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 誤った向きで無理に入れると、"メモリースティック　デュオ"やメモリースティック デュオスロット、画像データが破損することがあります。
- 出し入れ時には"メモリースティック　デュオ"の飛び出しにご注意ください。

かんたんに撮って見る（EASY かんたん操作）

ほとんどの設定を自動化するので、細かい設定なしに簡単に撮影、再生できます。
また、文字も大きく見やすくなります。

動画を撮る

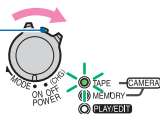
1 POWERスイッチEで「CAMERA-TAPE」ランプを点灯させる。

「OFF(CHG)」から電源を入れるときのみ、押しながら矢印の方向へずらす。

2 EASYボタンCを押す。

EASY が液晶画面Aに表示される。

3 START/STOPボタンFまたはBを押して撮影を開始する。

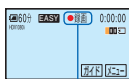
[スタンバイ]→[● 録画]

もう1度押すと、録画ストップ。

静止画を撮る

1 POWERスイッチEで「CAMERA-MEMORY」ランプを点灯させる。

「OFF(CHG)」から電源を入れるときのみ、押しながら矢印の方向へずらす。

2 EASYボタンCを押す。

EASY が液晶画面Aに表示される。

3 PHOTOボタンDを押して撮影する。*

軽く押してピント合わせ

点滅→点灯

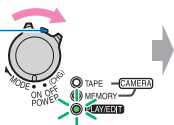
深く押して撮影

* 静止画は"メモリースティック　デュオ"に、画質[ファイン]で記録されます。

次のページへつづく→

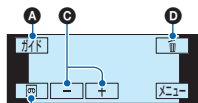
撮影した動画/静止画を見る

POWERスイッチEで「PLAY/EDIT」ランプを点灯させ、液晶画面Aをタッチして見る。

「OFF(CHG)」から電源を入れるときのみ、押しながら矢印の方向へずらす。

動画のとき

⏪ で巻き戻し、
▶❙❙ で再生スタート。

静止画のとき

メモリー をタッチし、
－/＋ で再生。

Ⓐ ガイド（27 ページ）
Ⓑ テープ再生切り換え
Ⓒ 前 / 次の画像を表示
Ⓓ 削除（67 ページ）

かんたん操作をやめるには

EASYボタンCをもう１度押す。液晶画面の EASY 表示が消える。

かんたん操作中のメニュー設定

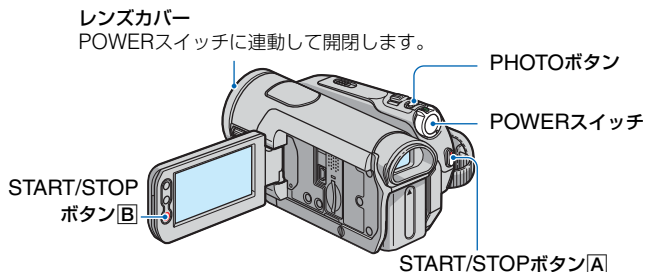
［メニュー］をタッチすると設定可能なメニューが表示されます。
詳しい設定方法は36ページをご覧ください。

- ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります（37ページ）。
- かんたん操作中は P.メニュー ボタンは表示されません。
- 画像に効果を加えたり、いろいろな設定をしたいときはかんたん操作を解除してください。

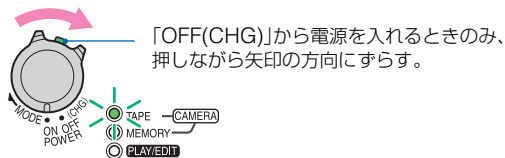
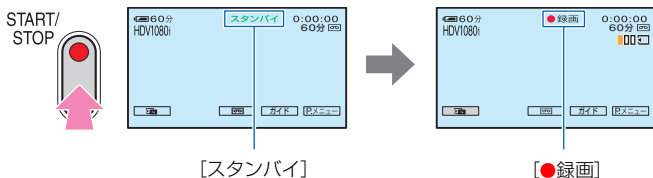
かんたん操作中は使えないボタン

ほとんどの機能は自動設定されるため、次のボタン/ダイヤルは使えません。使用不能のボタンを押すと、「 EASY かんたん操作中は無効です」とメッセージが出ることもあります。

- （逆光補正）ボタン（23ページ）
- DISPLAY/BATT INFOボタンの長押し（14ページ）
- CAM CTRLダイヤル（22ページ）
- MANUALボタン（22ページ）

撮る

動画を撮る

テープに動画を記録できます。

1 POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、「CAMERA-TAPE」ランプを点灯させる。

2 START/STOPボタンA(またはB)を押す。

撮影をやめるときは、START/STOPボタンA(またはB)をもう1度押す。

ちょっと一言

- お買い上げ時にはHDV規格で撮影するように設定されています(55ページ)。

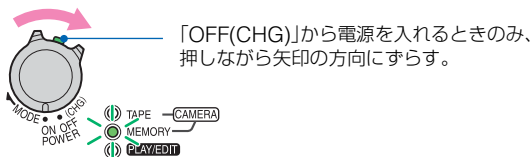
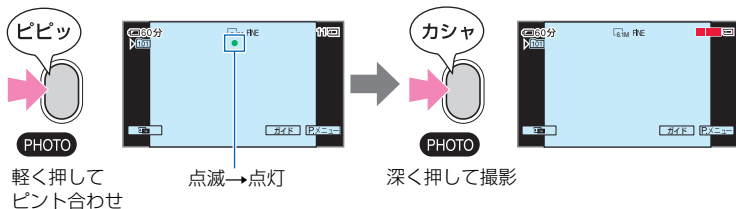
テープ撮影中に高画素の静止画を記録するには(デュアル記録)

詳しくは、21ページをご覧ください。

次のページへつづく➡

静止画を撮る

“メモリースティック　デュオ”に静止画を記録できます。

1 POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、「CAMERA-MEMORY」ランプを点灯させる。

2 PHOTOボタンを押す。

「カシャ」と鳴り、IIIIIIIIが消えると記録される。

“メモリースティック　デュオ”に記録した画像をすぐに確認する

[ ] をタッチする。画像を消すには、[ ] →［はい］をタッチする。

ちょっと一言

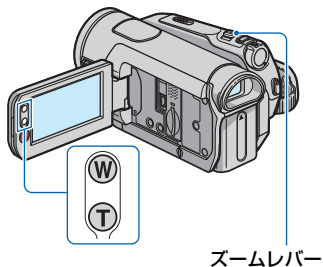
- 画質や画像サイズ、撮影可能枚数については、47ページをご覧ください。

ズームする

10倍までズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面の横のズームボタンで調整します。

ズームレバー

広角：Wide（ワイド）

W　T

望遠：Telephoto（テレフォト）

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

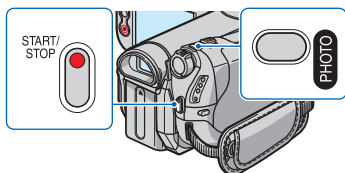
ご注意

- ズームレバーから指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバーの操作音が記録されることがあります。
- 液晶画面の横のズームボタンではズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

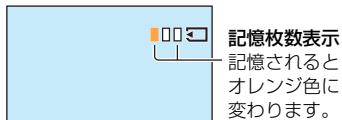
ちょっと一言

- ［デジタルズーム］（46ページ）を使うと、10倍を超えたズームを使えます。

テープ撮影中に高画素の静止画を記録する（デュアル記録）

テープ撮影中に、“メモリースティック デュオ”に鮮明な画像を記録できます。

① POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にしてSTART/STOPボタンを押し、テープ撮影を開始する。

② PHOTO ボタンを深く押す。
1 度のテープ撮影中に、最大 3 枚の静止画を記憶できる。

記憶枚数表示
記憶されるとオレンジ色に変わります。

③ START/STOPボタンを押してテープ撮影を終了する。
記憶していた静止画が1枚ずつ表示され、“メモリースティック　デュオ”に記録される。IIIIIIIが消えると記録が完了する。

ご注意

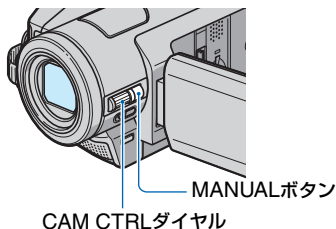
- デュアル記録をしたときは、テープ撮影を終了して“メモリースティック　デュオ”への記録が完了するまで、本機から“メモリースティック　デュオ”を抜かないでください。
- デュアル記録中は、フラッシュ撮影はできません。

ちょっと一言

- POWERスイッチが「CAMERA-TAPE」のとき、静止画の画像サイズは、HDV規格で撮影中は4.6Mで、DV規格で撮影中は3.4M（4:3）、または4.6M（16:9）で記録されます。
- 撮影スタンバイ中はPOWERスイッチを「CAMERA-MEMORY」にしたときと同様に、

"メモリースティック　デュオ"に静止画を記録できます。フラッシュ撮影も可能です。

CAM CTRLダイヤルでマニュアル調節する

よく使うメニュー項目をCAM CTRLダイヤルに割り当てると便利です。ここでは［フォーカス］（お買い上げ時の設定）が割り当てられているときの説明をします。

① MANUAL ボタンを押して、手動にする。
押すたびに自動 / 手動が切り替わります。

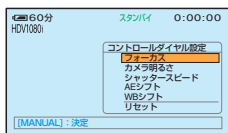
② CAM CTRL ダイヤルを上下に回して、手動でピントを合わせる。

設定できる項目

下記から選択できます。

– ［フォーカス］（43ページ）
– ［カメラ明るさ］（41ページ）
– ［シャッタースピード］（42ページ）
– ［AEシフト］（43ページ）
– ［WBシフト］（43ページ）

メニュー項目を割り当てるには

① MANUAL ボタンを数秒間押し続ける。
［コントロールダイヤル設定］画面が表示される。

② CAM CTRL ダイヤルを上下に回して、割り当てたい項目を選ぶ。

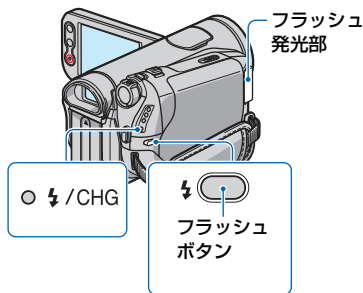
③ MANUAL ボタンを押す。

ご注意

- いったん設定内容を固定したあと、別の項目の設定を行っても、先に行った設定の内容はそのまま保持されます。ただし、［AEシフト］を手動設定したあとで［カメラ明るさ］を設定した場合、［AEシフト］の効果は無効になります。
- 手順②で［リセット］を選択すると、手動設定した項目が、すべてお買い上げ時の設定に戻ります。

ちょっと一言

- 再生時には、CAM CTRLダイヤルで音量調節を行うことができます。
- ［コントロールダイヤル設定］で項目を割り当てることもできます（47ページ）。

フラッシュを使う

ϟ（フラッシュ）ボタンを繰り返し押して、お好みの設定を選ぶ。

表示なし（自動調節）：撮影状況により光量が足りないと判断した場合、自動的に発光する。

↓

ϟ（強制発光）：周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

↓

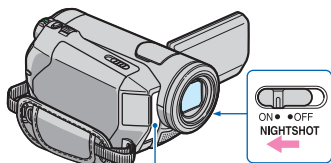
（発光禁止）：常に発光しない。

ご注意

- フラッシュを使用するときはレンズフードを取りはずしてください。
取り付けたまま使用すると、画面にレンズフードの影がうつりこみます。
- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.3m〜2.5mです。
- フラッシュ表面に付着した汚れは取り除いて使ってください。光による熱で汚れが変色したり、貼り付くなどしてフラッシュが充分な量を発光できなくなることがあります。
- ⚡/CHG（充電）ランプはフラッシュ充電中に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。（POWERスイッチが「CAMERA-TAPE」のときで撮影スタンバイ中は、フラッシュ撮影に必要な充電をするため、少し時間がかかります。）
- テープ撮影中、フラッシュは使えません。
- 逆光時など明るい場所では、強制発光を行ってもフラッシュ効果が得られにくいことがあります。

ちょっと一言

- ［フラッシュ設定］の［フラッシュレベル］で発光量を手動で変えたり、［赤目軽減］で目が赤く写るのを抑制したりできます（44ページ）。

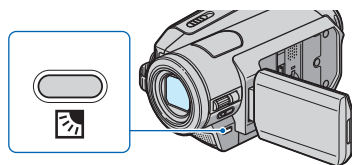
暗い場所で撮る（NightShot）

NIGHTSHOTスイッチを「ON」にする。
（◙と［" NIGHTSHOT"］が表示される。）

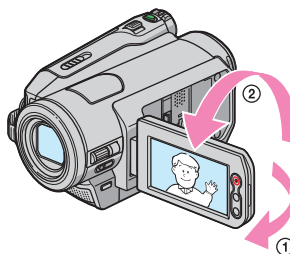
ご注意

- NightShotとSuper NightShotは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わず、コンバーションレンズ（別売り）やレンズフードははずしてください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（［フォーカス］、43ページ）。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

ちょっと一言

- さらに高感度で撮影するにはSuper NightShot（45ページ）、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter（45ページ）が使えます。

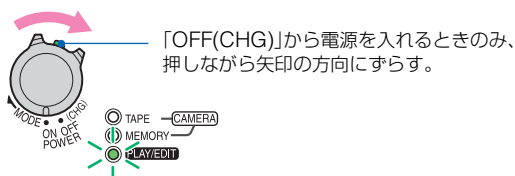
逆光を補正する

☒（逆光補正）ボタンを押すと、☒が表示されて補正される。解除するには、もう1度押す。

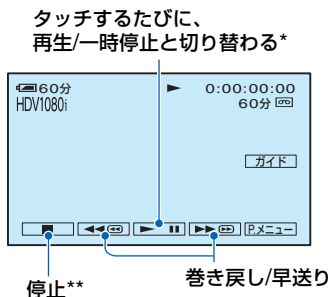
自分撮り（対面撮影）する

液晶画面を90°まで開いてから（①）、レンズ側に180°回す（②）。

ちょっと一言

- 液晶画面には、左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

見る

POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、「PLAY/EDIT」ランプを点灯させる。

動画を見る

◀◀ をタッチして見たい位置まで巻き戻し、▶ II をタッチして再生する。

* 一時停止が3分以上続くと、自動的に停止します。

** テープ停止中で、画像が入っている"メモリースティック　デュオ"が入っているときは、■ が メモリー と表示されます。

音量を調節するには

CAM CTRLダイヤルを回して調節する(22ページ)。

ちょっと一言

- メニューでも音量調整できます(55ページ)。

動画を見ながら場面を探す

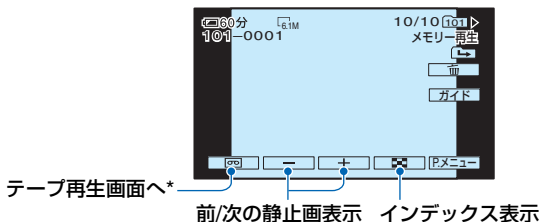
再生中に ▶▶ / ◀◀ をタッチしたままにする(ピクチャーサーチ)。
早送り中に見るときは ▶▶ を、巻き戻し中は ◀◀ をタッチしたままにする(高速アクセス)。

ちょっと一言

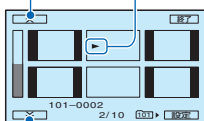
- テープは[変速再生]できます(53ページ)。

静止画を見る

メモリー をタッチする。

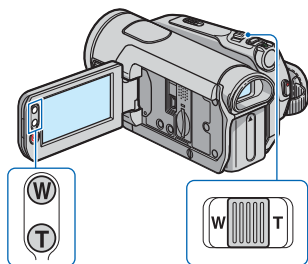
最後に撮影した画像が表示される。

* テープ再生画面では メモリー と表示されます。

“メモリースティック　デュオ”の画像を一覧表示する（インデックス表示）

をタッチする。いずれかの画像をタッチすると1枚表示になる。

別フォルダの画像を見るときは、 → 設定 →［再生フォルダ選択］をタッチし、▲/▼で選び OK をタッチする（49ページ）。

撮る/見る

再生ズームする

画像を約1.1～5倍（静止画は約1.5～5倍）の範囲でズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面の横のズームボタンで調整します。

① 拡大したい画像を表示する。
② T（望遠）で画像を拡大する。
③ 画面中央に表示したい部分をタッチする。
④ W（広角）/ T（望遠）で画像の大きさを調節する。

終了するには、[終了]をタッチする。

やりたいことから機能を探す(使い方ガイド)

使い方ガイドを使うと、目的に合わせた設定画面へ本機が自動的に導きます。

本機には次の4種類のガイドがあります。

撮るガイド: 撮影する画像や状況にあった設定画面へ導きます。

つなげるガイド: お手持ちの機器に合った接続方法を本機がアドバイスします。詳しくは30ページをご覧ください。

便利ガイド: 本機の基本的な操作の設定画面へ導きます。

表示ガイド: 本機の画面に出ている表示の意味を確認できます。詳しくは109ページをご覧ください。

1 [ガイド]をタッチする。

2 表示される項目の中から目的のものを選ぶ。

夜景を撮りたい場合の例

[撮るガイド]→[こんな場面には]の順にタッチし、▲/▼をタッチして[夜景の雰囲気を残して撮るには]を表示させる。

3 [設定]をタッチする。

目的に合った設定画面が表示される。

お好みで設定を行ってください。

かんたん操作に設定しているときは

かんたん操作中に設定できない項目は、[設定]をタッチすると、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って、かんたん操作を解除してから設定を行ってください。

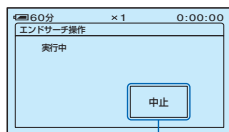
ちょっと一言

- 手順**3**で[設定]が表示されない場合は、画面の指示に従って操作してください。

テープの頭出しをする

最後に録画した場面を頭出しする(エンドサーチ)

カセットをいったん取り出すと、エンドサーチは働きません。
POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にして操作してください(19ページ)。

[テープ]→[→I]をタッチする。

中止するにはここをタッチする

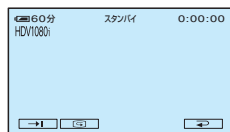
最後に録画した場面の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになる。

ご注意
- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かない場合があります。

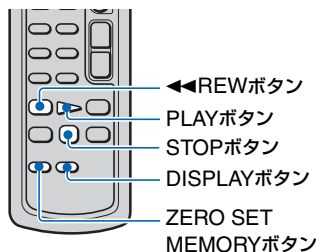
ちょっと一言
- メニューからも[エンドサーチ操作]できます。電源ランプの位置が「PLAY/EDIT」のときは、パーソナルメニュー(36ページ)にショートカットがあります。

テープを停止した場面を確認する(レックレビュー)

テープを停止させた場面を約2秒間再生し、確認できます。
POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にして操作してください(19ページ)。

[テープ]→[レックレビュー]をタッチする。

停止した部分が約2秒間再生され、スタンバイに戻る。

見たい場面にすばやく戻す(ゼロセットメモリー)

POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にして操作してください(24ページ)。

1 再生中に後で頭出ししたい場面で、リモコンのZERO SET MEMORYボタンを押す。

テープカウンターが「0:00:00」になり、→0← が点灯する。

テープカウンターが表示されないときは、DISPLAYボタンを押す。

2 **見終わったら、STOPボタンを押す。**

3 **◀◀REWボタンを押す。**

「0:00:00」付近になると、自動的に停止する。

テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

4 **PLAYボタンを押す。**

「0:00:00」の場面からもう1度再生する。

ゼロセットメモリーを解除するには

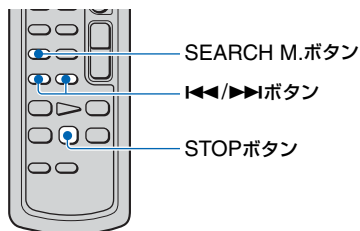
巻き戻す前に、ZERO SET MEMORYボタンをもう1度押す。

ご注意

- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が生じることがあります。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。

撮影日でテープを頭出しする（日付サーチ）

撮影日の変わり目を頭出しできます。

POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にして操作してください（24ページ）。

1 **リモコンのSEARCH M.ボタンを押す。**

2 **⏮（前の日付）/⏭（後の日付）ボタンを押して頭出しする。**

日付サーチを中止するには

STOPボタンを押す。

ご注意

- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。

撮る/見る

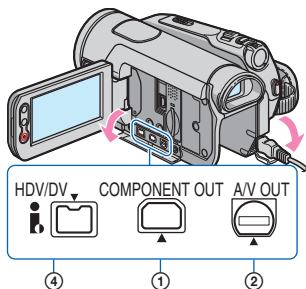
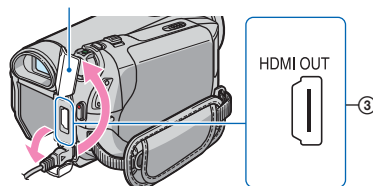
テレビにつないで見る

テレビの種類や接続する端子によって接続方法や再生される画質が異なります。
電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（10ページ）。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機のメニュー設定は接続の前に行ってください。i.LINKケーブルにつないでから[ビデオHDV/DV]や[i.LINK DV変換]の設定を変えると、テレビが映像信号を正しく認識できないことがあります。
- DV規格で撮影した画像はどの接続でもSD（標準）画質で再生されます。
- x.v.Colorに対応したテレビで見るときは、あらかじめ[X.V.COLOR]を[入]にして撮影してください（47ページ）。再生時にはテレビ側の設定が必要になる場合があります。

本機の端子について

端子カバーを矢印の方向に開けて接続してください。

端子カバーの下側を持ち上げてから、矢印の方向に回す。

最適な接続方法を選ぶ（つなげるガイド）

お使いの機器に合った接続方法を本機がアドバイスします。本機の出力設定も自動で行われるので便利です。

1 **[ガイド]をタッチする。**

2 **[つなげるガイド]をタッチする。**

3 **画面の表示に従って、本機とテレビを接続する。**

ハイビジョンテレビにつなぐ場合の例

① [テレビにつなぐ]→[ハイビジョンテレビ]をタッチする。
② [←]/[→]でテレビの端子を選び、[OK]をタッチする。
③ 出力設定の内容を確認し、[OK]をタッチする。
④ 画面の図を参考に本機とテレビをつなぐ。[ヒント]をタッチして接続時のご注意もご覧ください。
⑤ [OK]→[終了]をタッチする。

ちょっと一言

- 前の質問に戻るには、[↩]をタッチしてください。

ハイビジョンテレビとの接続方法

:信号の流れ、( ):参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定

• D端子コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはA/V接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

撮る/見る

:信号の流れ、( ):参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定

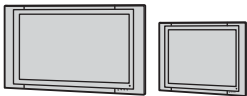
- **HDMIケーブルはHDMIロゴ(表紙)がついているものをお使いください。**
- 著作権保護のための信号が記録されているDV規格の映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- i.LINKでDV入力された画像(65ページ)を出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。また、本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。

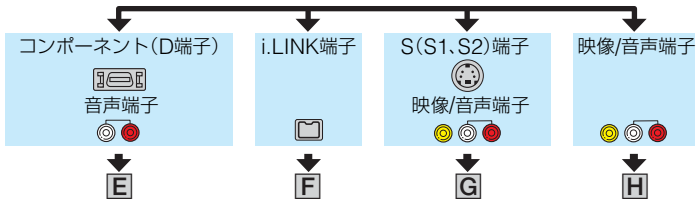
- **テレビにはHDV1080i方式対応のi.LINK端子が必要です。詳しくはお使いのテレビの仕様をご確認ください。対応するソニー製機種の情報については、下記のURLをご覧ください。**
  http://www.sony.co.jp/cam/support/
- お使いのテレビがHDV1080i方式に対応していない場合は、付属のD端子コンポーネントビデオケーブルとA/V接続ケーブルで A の接続をしてください。
- テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

→：信号の流れ、( ):参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定

- コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはA/V接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

ワイドテレビ/4:3テレビとの接続方法

SD(標準)画質

- HDV規格で撮影した映像をダウンコンバートして、DV規格(SD画質)で再生
- DV規格で撮影した映像はそのままDV規格(SD画質)で再生

テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて[TVタイプ]を変更してください(57ページ)。

ご注意

- DV規格で記録したテープをワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時に[ワイド切換]を[4:3]に設定してから撮影してください(55ページ)。

：信号の流れ、( )：参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定

- D端子コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはA/V接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子（赤と白）につないでください。

- テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

- S（S1、S2）映像端子のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するにはS映像ケーブル付きのA/V接続ケーブルの白と赤のプラグも接続してください。
- A/V接続ケーブル（接続 H ）に比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

⇨:信号の流れ、( ):参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
H	②	A/V接続ケーブル(付属)	(黄) 映像 (白) (赤) 音声	基本設定 [ビデオ HDV/DV] →[オート](54) [TVタイプ] →[16:9]/[4:3] (57)

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの入力端子によって62ページで接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

“ブラビア プレミアムフォト”について

本機は“ブラビア プレミアムフォト”に対応しています。

“ブラビア プレミアムフォト”とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。

“ブラビア プレミアムフォト”に対応したソニー製テレビと本機を、HDMIケーブル*、D端子コンポーネントビデオケーブル**またはコンポーネントビデオケーブル**で接続すると、写真を今までになかった感動のFull HD高画質でお楽しみいただけます。

* 静止画表示時にテレビの設定が自動的に切り替わります。

** テレビ側の設定が必要です。

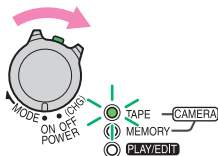
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- HDMI (High Definition Multimedia Interface)とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。
- i.LINK以外の端子から画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、HDMI端子→コンポーネントビデオ端子→S(S1、S2)映像端子→映像/音声端子の順で優先されます。
- i.LINKについて詳しくは92ページをご覧ください。

メニューの使いかた

1 POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、使用するモードの電源ランプを点灯させる。

「CAMERA-TAPE」ランプ： テープの設定
「CAMERA-MEMORY」ランプ：
“メモリースティック　デュオ”の設定
「PLAY/EDIT」ランプ：見る/編集の設定

2 液晶画面をタッチして、項目を設定する。

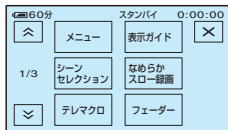
灰色に表示されるメニューは、使用できません。

■ パーソナルメニューのショートカットを使うときは

パーソナルメニューには、よく使うメニューへのショートカットが登録されています。

ちょっと一言

- パーソナルメニューはお好みの設定に変更できます（60ページ）。

① P.メニュー をタッチ。

② 希望の項目をタッチ。
画面にないときは、⌃/⌄ をタッチして表示させる。
③ 希望の設定にして、OK をタッチ。

■ メニューを使うときは

パーソナルメニューに登録されていないメニュー項目も設定できます。

① P.メニュー →[メニュー]の順にタッチ。
② 設定するメニューを選ぶ。
▲/▼ をタッチして選び、OK をタッチして決定する。（手順③も同様の操作です。）
③ 設定する項目を選ぶ。
④ 希望の設定にする。
設定し終わったら、OK → ✕（閉じる）の順にタッチして、メニュー画面を消す。
設定を変更しないで戻るときは、↩ をタッチ。

■ かんたん操作中にメニューを使うときは

P.メニュー は表示されません。[メニュー]をタッチして、メニュー項目を表示させてください。

メニュー一覧

ランプの点灯位置によって、使用可能(●)メニューが異なります。
かんたん操作時は、下記の設定に自動設定されます(17ページ)。

	TAPE	MEMORY	PLAY/EDIT	かんたん操作時
カメラ設定メニュー(40ページ)				
シーンセレクション	●	●	−	オート
スポット測光・フォーカス	●	●	−	−
スポット測光	●	●	−	−
カメラ明るさ	●	●	−	オート
ホワイトバランス	●	●	−	オート
シャープネス	●	●	−	−
シャッタースピード	●	●	−	オート
オートスローシャッター	●	−	−	入
AEシフト	●	●	−	切
カメラ色のこさ	●	●	−	−
WBシフト	●	●	−	切
スポットフォーカス	●	●	−	オート
フォーカス	●	●	−	オート
テレマクロ	●	●	−	切
ピーキング	●	●	−	切
フラッシュ設定	●	●	−	ϟ *1/切
SUPER NS	●	−	−	切
NS ライト	●	●	−	入
COLOR SLOW S	●	●	−	切
ゼブラ	●	●	−	切
ヒストグラム	●	●	−	切
セルフタイマー	●	●	−	●*2
デジタルズーム	●	−	−	切
手ブレ補正	●	●	−	入
コンバージョンレンズ	●	●	−	−*1
コントロールダイヤル設定	●	●	−	−
X.V.COLOR	●	−	−	−*1
メモリー設定メニュー(47ページ)				
静止画設定	−	●	●	ファイン/●*1
全消去	−	−	●	●
フォーマット	−	●	●	−
ファイルナンバー	−	●	●	−*1
フォルダ作成	−	●	●	−
記録フォルダ選択	−	●	●	−*1
再生フォルダ選択	−	−	●	−*1
ピクチャーアプリメニュー(50ページ)				
フェーダー	●	−	−	切
インターバル静止画記録	−	●	−	切
スライドショー	−	−	●	−

次のページへつづく➡

	TAPE	MEMORY	PLAY/EDIT	かんたん操作時
デジタルエフェクト	●	－	●	切
ピクチャーエフェクト	●	－	●	切
なめらかスロー録画	●	－	－	－
PictBridge プリント	－	－	●	－
USB機能選択	－	－	●	－
デモモード	●	－	－	入
編集/変速再生メニュー（53ページ）				
変速再生	－	－	●	－
録画操作	－	－	●	－
エンドサーチ操作	●	－	●	－
基本設定メニュー（54ページ）				
ビデオ HDV/DV	－	－	●	オート
録画フォーマット	●	－	－	●*1
DV設定DV	●	－	●	SP*1/16:9 ワイド*1/ ♪16b *1/－*1
音量	●	●	●	●*1*3
マイク音レベル	●	－	－	オート
パネル･VF設定	●	●	●	－/ノーマル/ － / ノーマル
コンポーネント出力	●	●	●	D3*1
i.LINK DV変換	●	－	●	切*1
TVタイプ	●	●	●	16:9*1
表示ガイド	●	●	●	●
ステータスチェック	●	－	●	－
ガイドフレーム	●	●	－	切
センターマーカー	●	●	－	切
カラーバー	●	－	－	切
日時/カメラデータ表示	－	－	●	●
残量表示	●	－	●	オート
リモコン	●	●	●	入
録画ランプ	●	●	－	入
操作音	●	●	●	●*1
画面表示出力	●	●	●	パネル
メニュー操作方向	●	●	●	－
自動電源オフ	●	●	●	5分後
キャリブレーション	－	－	●	－
クイック録画HDV1080i	●	－	－	切

	TAPE	MEMORY	PLAY/EDIT	かんたん操作時
時間設定メニュー（59ページ）				
日時あわせ	●	●	●	●*1
時差補正	●	●	●	–*1

*1 かんたん操作前の設定値が保持されます。
*2 「CAMERA-TAPE」のときは使えません。
*3 「PLAY/EDIT」のときのみ使えます。

カメラ設定メニュー

撮影状況に合わせるための設定

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内の表示が画面に出ます。
操作方法は36ページをご覧ください。

シーンセレクション

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート
シーンセレクションを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

夜景*（　）
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。

夜景＆人物（　）
静止画撮影時にフラッシュを使い、人物と背景を撮影する。

キャンドル（　）
キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮影できる。

日の出＆夕焼け*（　）
日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。

打ち上げ花火*（　）
打ち上げ花火をきれいに撮影する。

風景*（　）
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

ソフトポートレート（　）
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

スポットライト（　）**
スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

ビーチ（　）**
照り返しの強い砂浜で、人物が陰にならなくする。

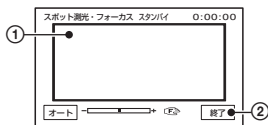
スノー（　）**
ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗く映るのを防ぎ、明るくする。

* 遠景のみにピントが合うように設定されます。
** 近くのものにピントが合わないように設定されます。

ご注意
- [シーンセレクション]を設定すると、[シャッタースピード]、[ホワイトバランス]の設定は解除されます。

スポット測光・フォーカス

被写体の明るさとピントを同時に合わせます。
スポット測光（41ページ）とスポットフォーカス（43ページ）が同時に使えます。

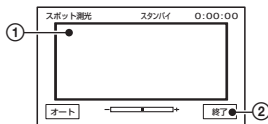
① 画面枠内の調整したいポイントをタッチ。
　スライダーと が表示される。

② [終了]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

ご注意

- スポット測光・フォーカス中は、[カメラ明るさ]と[フォーカス]は自動的に[マニュアル]になります。

スポット測光（フレキシブルスポット測光）

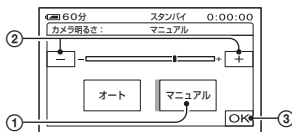
被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の明るさを調節したいポイントをタッチ。
　スライダーが表示される。
② [終了]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

ご注意

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり暗すぎるときなどに調節します。

① [マニュアル]をタッチ。
　スライダーが表示される。
② [－]/[＋]で明るさ調節。
③ [OK]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[OK]をタッチ。

ちょっと一言

- CAM CTRLダイヤルで、手動で設定を調節することもできます（22ページ）。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶オート
自動調節されます。

屋外（☀）
次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼光色蛍光灯の下

屋内（）
次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋内

メニューで設定を変更する

– パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
– スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ワンプッシュ( )
光源に合わせてホワイトバランスを固定する。
① [ワンプッシュ]をタッチ。
② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
③ [ ]をタッチ。
が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。

ご注意
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]に設定するか[ワンプッシュ]の手順で色合いを調節してください。
- [ワンプッシュ]で設定するとき、 の速い点滅中は、白いものを映し続けてください。
- の遅い点滅は、[ワンプッシュ]で設定できなかった場合を表します。
- [ワンプッシュ]で設定するとき、OKをタッチ後も が点滅するときは、[オート]にしてください。
- [ホワイトバランス]を設定すると[シーンセレクション]が[オート]になります。

ちょっと一言
- [オート]でバッテリーを交換したときや、屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、より良い色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、[シーンセレクション]の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。

シャープネス

−/+で画像輪郭をやわらかくするか、くっきりさせるかを調節して撮影できます。お買い上げ時の設定以外にすると、 が表示されます。

やわらかな画像に　　くっきりした画像に

シャッタースピード

シャッタースピードを自由に調節し、固定することができます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

▶オート
自動で調節するときに選ぶ。

マニュアル(S)
−/+でシャッタースピードを調節する。
POWERスイッチが「CAMERA-TAPE」のときは1/4秒から1/10000秒、POWERスイッチが「CAMERA-MEMORY」のときは1/4秒から1/500秒の範囲で設定できます。

ご注意
- 「CAMERA-TAPE」ランプが点灯しているときに1/725秒以上に設定すると、静止画を撮影できません。 が表示されます。
- シャッタースピードを1/100秒に設定すると、画面には[100]と表示されます。
- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると画面に横帯が発生することがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100秒、関西地方など60Hzの地域では1/60秒に設定することをおすすめします。

ちょっと一言
- CAM CTRLダイヤルで、手動で設定を調節することもできます(22ページ)。

オートスローシャッター

[入]に設定すると、暗い場所で撮影するときに自動的に1/30秒までシャッタースピードが遅くなります。

AE シフト

[－](暗く)/[＋](明るく)で露出をお好みに合わせて調節できます。お買い上げの設定以外にすると、AS と設定した数値が表示されます。

ちょっと一言

- 白い被写体や逆光のときは[＋]、黒い被写体や暗い場所のときは[－]をタッチすることをおすすめします。
- [カメラ明るさ]が[オート]のときに使うと、明るさを明るめ/暗めに設定できます。
- CAM CTRLダイヤルで、手動で設定を調節することもできます(22ページ)。

カメラ色のこさ

[－]/[＋]で画像の色の濃淡をお好みに合わせて調節できます。お買い上げの設定以外にすると、が表示されます。

薄くなる　濃くなる

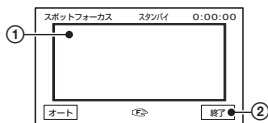
WB シフト(ホワイトバランスシフト)

[－]/[＋]でホワイトバランスをお好みに合わせて調節できます。お買い上げの設定以外にすると、WS と設定した数値が表示されます。

ちょっと一言

- 数値を下げると画像が青味がかり、数値を上げると赤味がかります。
- CAM CTRLダイヤルで、手動で設定を調節することもできます(22ページ)。

スポットフォーカス

画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチ。
　が表示される。

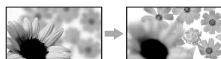
② [終了]をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

ご注意

- スポットフォーカス中は、[フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

① [マニュアル]をタッチ。
　が表示される。

② [←](近くにピント合わせ)/[→](遠くにピント合わせ)をタッチしてピント調節。それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示される。[→∞]ボタンを押すと ∞ が表示され、フォーカスが無限遠になります。

③ [OK]をタッチ。

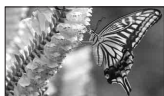
自動ピント合わせに戻すには、[オート]→[OK]をタッチ。

メニューで設定を変更する

ご注意
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言
- ピントは、始めにズームをT側（望遠）でピントを合わせてから、W側（広角）に戻してゆくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。
- CAM CTRLダイヤルでも手動でピントを合わせることができます（22ページ）。

テレマクロ

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。
［入］（T🌷）にするとズーム（21ページ）が自動で望遠（T側）になり、約45cmまでの近接撮影ができます。

解除するには、［切］をタッチ。またはズームを広角（W側）にする。

ご注意
- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（［フォーカス］、43ページ）。

ピーキング

画面上に画像の輪郭が強調して表示されるので、ピントが合わせやすくなります。ピーキング使用時に表示される輪郭の色を設定できます。お買い上げ時の設定以外にすると PEAK ING が表示されます。

▶**切**
設定しない。

白
輪郭の色を白くする。

赤
輪郭の色を赤くする。

黄
輪郭の色を黄色にする。

ちょっと一言
- ピーキングはテープに記録されません。

フラッシュ設定

本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応している外付けフラッシュ（別売り）をお使いのとき設定できます。

■ フラッシュレベル

明るい（⚡+）
発光量が増える。

▶**ノーマル（⚡）**

暗い（⚡−）
発光量が減る。

■ 赤目軽減

撮影前に予備発光して、目が赤く光るのを抑制します。
［入］に設定して⚡（フラッシュ）ボタン（22ページ）を繰り返し押し、お好みの設定を選びます。

👁（自動赤目軽減）：自動でフラッシュ撮影するときのみ、予備発光し、撮影時に発光する。
↓
👁 ⚡（強制赤目軽減）：常に予備発光し、撮影時に発光する。
↓
⊘（発光禁止）：常に発光しない。

ご注意
- 赤目軽減で撮影しても、効果が現れにくいことがあります。

SUPER NS(Super NightShot)

あらかじめ、NIGHTSHOTスイッチ(23ページ)を「ON」にした状態で、[入]に設定すると、暗い場所でNightshotの最大16倍の感度で撮影できます。
S⊙と["SUPER NIGHTSHOT"]が表示されます。

解除するには、[切]をタッチ。またはNIGHTSHOTスイッチを「OFF」にする。

ご注意
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください(104ページ)。
- コンバージョンレンズ(別売り)やレンズフードははずしてください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、43ページ)。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

NS ライト(NightShot ライト)

[入](お買い上げ時の設定)のとき、NightShot(23ページ)と[SUPER NS](45ページ)撮影時に、赤外線(不可視)を発光する[NSライト]で、よりはっきりした画像を撮影できます。

ご注意
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください(104ページ)。
- コンバージョンレンズ(別売り)やレンズフードははずしてください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

COLOR SLOW S (Color Slow Shutter)

[入]に設定すると、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
と[COLOR SLOW SHUTTER]が表示されます。

解除するには、[切]をタッチ。

ご注意
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、43ページ)。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

ゼブラ

画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分にしま模様が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。お買い上げ時の設定以外にすると、が表示されます。ゼブラは記録されません。

▶切
表示しない。

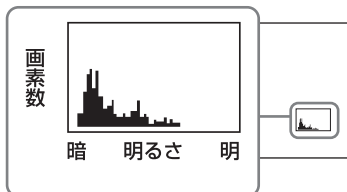
70
輝度レベルが約70IREの部分に表示

100
輝度レベルが約100IRE以上の部分に表示

ご注意
- 100IRE以上の部分は白とびすることがあります。

ちょっと一言
- IREとは輝度レベルの単位です。

ヒストグラム

[入]に設定すると、ヒストグラム(画像の明るさの分布を表した図(グラフ))が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。ヒストグラムを見ながら、[カメラ明るさ]や[AEシフト]を調節することができます。テープや"メモリースティック デュオ"にヒストグラムは記録されません。

ご注意
- デジタルズーム使用時は⊘が表示され、ヒストグラムは表示されません。

ちょっと一言
- グラフの左側は画面の暗い部分、右側は明るい部分を示します。

セルフタイマー

約10秒後に静止画を撮影します。

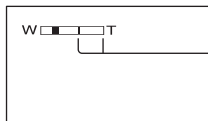
[入]で⏲が表示されている状態でPHOTOボタンを押す。

秒読みを停止するには[リセット]をタッチ。

解除するには、[切]をタッチ。

ちょっと一言
- リモコンのPHOTOボタンでも操作できます(105ページ)。

デジタルズーム

テープ撮影時に、10倍光学ズーム(お買い上げ時の設定)を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

ラインよりT側がデジタルズームになります。倍率を選ぶと表示されます。

▶切
10倍光学ズームのみ

20×
10倍光学ズーム～最大20倍までのデジタルズーム

手ブレ補正

お買い上げ時の設定は[入]のため、手ブレ補正を使って撮影できます。三脚(別売り)を利用するときは、[切]( )にすると自然な画像になります。

コンバージョンレンズ

コンバージョンレンズ(別売り)を使用するときに設定すると、それぞれのレンズに最適な手ブレ補正を使って撮影できます。

▶切
コンバージョンレンズ(別売り)を使用しない。

ワイドコンバージョン( )
ワイドコンバージョンレンズ(別売り)を使用する。

テレコンバージョン( )
テレコンバージョンレンズ(別売り)を使用する。

コントロールダイヤル設定

CAM CTRLダイヤルに割り当てる項目を選択できます。設定できる項目については22ページをご覧ください。

X.V.COLOR HDV1080i

[入]にして撮影すると、より広い色域で記録できます。今までは表現できなかった鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを、より忠実に再現することが可能になります。

ご注意

- x.v.Colorに対応したテレビで再生するときのみ、あらかじめ[入]にして撮影してください。
- [入]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき[X.V.COLOR]は設定できません。
  - DV規格で記録するとき
  - 動画を撮影中

メモリー設定メニュー

“メモリースティック　デュオ”に関する設定

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は36ページをご覧ください。

静止画設定

■ 画質

▶ファイン(FINE)
高画質で記録する。

スタンダード(STD)
標準の画質で記録する。

ご注意

- かんたん操作中は[ファイン]に設定されます。

■ 画像サイズ

▶6.1M(6.1M)
鮮明な画像を撮影する。

4.6M(4.6M)
鮮明な画像をワイド(16:9)で撮影する。

3.1M(3.1M)
比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

VGA(0.3M)(VGA)
たくさんの枚数を撮影する。

ご注意

- POWERスイッチが「CAMERA-MEMORY」のときのみ設定できます。
- ワイド(16:9)で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされます。

“メモリースティック　デュオ”の容量と撮影可能枚数（枚）

POWERスイッチが「CAMERA-MEMORY」のとき

	6.1M 2848×2136	4.6M 2848×1602	3.1M 2048×1536	VGA 640×480
128MB	41	55	80	780
	98	130	185	1970
256MB	75	95	140	1400
	175	235	335	3550
512MB	150	205	295	2900
	365	485	690	7300
1GB	315	420	610	6000
	740	950	1400	14500
2GB	630	850	1200	12000
	1500	2000	2850	30000
4GB	1250	1650	2400	23500
	2950	3950	5600	59500
8GB	2500	3350	4900	48000
	6000	8000	11000	115000

POWERスイッチが「CAMERA-TAPE」のとき*

	4.6M 2848×1602	3.4M 2136×1602
128MB	55	74
	130	170
256MB	95	130
	235	305
512MB	205	275
	485	630
1GB	420	560
	950	1300
2GB	850	1100
	2000	2600
4GB	1650	2250
	3950	5200
8GB	3350	4500
	8000	10000

* 画像サイズは撮影画像がHDV規格、またはDV規格（16:9）のときは4.6M、DV規格（4:3）のときは3.4Mに固定されます。

POWERスイッチが「PLAY/EDIT」のとき*

	1.2M 1440×810	VGA 640×480	0.2M 640×360
128MB	205	780	980
	490	1970	1970
256MB	370	1400	1750
	890	3550	3550
512MB	770	2900	3650
	1800	7300	7300
1GB	1550	6000	7500
	3750	14500	14500
2GB	3150	12000	15000
	7500	30000	30000
4GB	6300	23500	29500
	14500	59500	59500
8GB	12500	48000	60000
	30000	115000	115000

* 画像サイズは再生画像がHDV規格のときは1.2M、DV規格（16:9）のときは0.2M、DV規格（4:3）のときはVGA（0.3M）に固定されます。

ご注意

- それぞれの数値は次の設定によるものです。
  上段は画質が[ファイン]のとき
  下段は画質が[スタンダード]のとき
- ソニー製“メモリースティック　デュオ”使用時。枚数は、撮影状況および記録メディアによって異なる場合があります。
- ソニー独自のクリアビッドCMOSセンサーの画素配列と画像処理システム新エンハンスドイメージングプロセッサーにより、静止画は表記の記載サイズを実現しています。

全消去

プロテクトのかかっていない"メモリースティック　デュオ"内または選択フォルダ内の全画像を消します。

① [全ファイル]か[フォルダ内]を選ぶ。
[全ファイル]:"メモリースティック　デュオ"内のすべての画像を消去。
[フォルダ内]:選択しているフォルダ内のすべての画像を消去。

② [はい]を2回→[×]をタッチ。

ご注意
- 全消去しても、フォルダは消去されません。
- [全消去中です]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  - POWERスイッチ/ボタン操作
  - "メモリースティック　デュオ"の取り出し

フォーマット

"メモリースティック　デュオ"はお買い上げ時にフォーマット済みのため、フォーマットする必要はありません。

フォーマットを実行するには、[はい]を2回→[×]をタッチ。
フォーマットされて、すべての画像が消去されます。

ご注意
- [フォーマット中です]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  - POWERスイッチ/ボタン操作
  - "メモリースティック　デュオ"の取り出し
- 新しく作成したフォルダやプロテクトのかかっている画像もすべて消去されます。

ファイルナンバー

▶**連番**
"メモリースティック　デュオ"を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされる。

リセット
"メモリースティック　デュオ"ごとに、ファイル番号を0001から付ける。

フォルダ作成

"メモリースティック　デュオ"内に、新フォルダ(102MSDCF〜999MSDCFまで)を作成できます。1つのフォルダが9,999枚になると、自動的に新フォルダを作成します。

[はい]→[×]をタッチ。

ご注意
- 1度作成した新フォルダは、本機で削除できません。"メモリースティック　デュオ"をフォーマットするか(49ページ)、パソコンなどで削除してください。
- フォルダが増えると、"メモリースティック　デュオ"の残量が減ることもあります。

記録フォルダ選択

[▼]/[▲]で記録するフォルダを選んで[OK]をタッチ。

ご注意
- お買い上げ時の設定では、ファイルは「101MSDCF」に記録されます。
- いったん画像を記録すると、そのとき選ばれている記録先フォルダが、再生フォルダに設定されます。

再生フォルダ選択

[▼]/[▲]で再生するフォルダを選んで[OK]をタッチ。

ピクチャーアプリメニュー

画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は36ページをご覧ください。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中(フェードインのとき)または録画中(フェードアウトのとき)に使いたい効果を選んで、OK をタッチ。
② START/STOPボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

操作開始前に解除するには手順①で[切]をタッチ。
1度START/STOPボタンを押すと、設定は解除されます。

ホワイトフェーダー

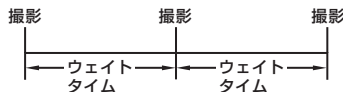
ブラックフェーダー

モザイクフェーダー

モノトーンフェーダー

フェードイン時は白黒→カラーに、フェードアウト時はカラー→白黒になる。

インターバル静止画記録

一定時間ごとに"メモリースティック デュオ"へ静止画を記録します。雲の動きや日照変化などを定点観測撮影時に便利です。

① 設定 →希望のウェイトタイム(1分、5分、10分)→ OK →[入]→ OK → ✕ をタッチ。
② PHOTOボタンを深く押す。
が点滅から点灯に変わり、インターバル静止画記録が始まる。

解除するには[切]にする。

スライドショー

"メモリースティック　デュオ"内の全画像、またはフォルダ内の全画像を自動再生(スライドショー)できます。

① 設定 →[再生フォルダ選択]をタッチ。
② [全ファイル(all)]か[フォルダ内(1)]を選び、OK をタッチ。
[フォルダ内(1)]を選ぶと、[再生フォルダ選択](49ページ)で選んだフォルダ内の画像を自動再生する。
③ [繰り返し設定]をタッチ。
④ [入]または[切]を選び、OK をタッチ。
[入](↻)に設定すると、スライドショーを繰り返し、[切]に設定すると、スライドショーを1度だけで終了する。
⑤ [終了]→[スタート]をタッチ。

中止するには[終了]を、一時停止するには[ポーズ]をタッチ。

ちょっと一言

- [スタート]をタッチする前に、 − / + でスライドショーを始める画像を選べます。

デジタルエフェクト

演出を加えて画像を撮影したり、見たりできます。

① 設定する効果を選ぶ。

② [－]/[＋]で効果を調節して[OK]をタッチ。

効果	調節内容
シネマチックエフェクト*	調整不要
スチル	背景の静止画の写り具合
フラッシュ	フラッシュの間隔
トレイル	残像時間
オールドムービー*	調節不要

* テープ撮影時のみ使えます。

③ [OK]をタッチ。
D✦が表示される。

解除するには[切]をタッチ。

▶**切**
デジタルエフェクトを使わない。

シネマチックエフェクト
画質を調整し、映画のように撮影する。

スチル
[スチル]をタッチしたときに記憶される静止画に、動画を重ねて撮影/再生する。

フラッシュ(フラッシュモーション)
コマ送り撮影/再生をする。

トレイル
残像が尾を引くように撮影/再生する。

オールドムービー
昔の映画のようなセピア色の画像にする。

ご注意
- [シネマチックエフェクト]を設定してテープ記録している間は、他のデジタルエフェクトに切り換えられません。
- i HDV/DV端子(i.LINK)で本機と他の機器を接続した場合、再生画像に加えた効果は出力されません。
- [デジタルエフェクト]中は"メモリースティック　デュオ"静止画レビューボタンは使えません。
- [シネマチックエフェクト]を設定すると、[スポット測光]と[カメラ明るさ]は[オート]に戻ります。
- 外部入力している画像に効果を加えることは出来ません。

ちょっと一言
- 効果を加えた画像を、"メモリースティック デュオ"に取り込んだり(66ページ)、ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングしたり(62ページ)できます。

ピクチャーエフェクト

特殊効果を加えて撮影したり、見たりできます。P✦が表示されます。

▶**切**
ピクチャーエフェクトを使わない。

ソフトスキントーン*
肌をなめらかに美しく見せます。

ネガアート
ネガフィルムのような画像。

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

ソラリ
明暗がはっきりして、イラストのような画像。

メニューで設定を変更する

次のページへつづく➡

パステル*
淡い色の画像。

モザイク*
タイルを組み合わせたような画像。

* テープ撮影時のみ設定できます。

ご注意

- HDV/DV端子（i.LINK）で本機と他の機器を接続した場合、再生画像に加えた効果は出力されません。
- 外部入力している画像に効果を加えることは出来ません。

ちょっと一言

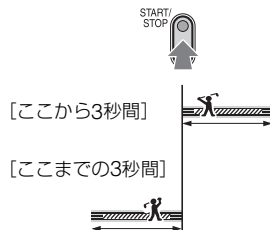
- 効果を加えた画像を、"メモリースティック デュオ"に取り込んだり（66ページ）、ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングしたり（62ページ）できます。

なめらかスロー録画

通常撮影では見ることができない高速な動作、現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影できます。ゴルフ、テニスなどの速い動きの撮影時に便利です。

［なめらかスロー録画］画面で、START/STOPボタンを押す。
約3秒間の録画が、約12秒間のスローモーション映像として記録されます。記録が完了すると、［テープに録画中］が消えます。

［設定］をタッチして以下を設定することができます。

– ［タイミング］
START/STOPボタンを押してから記録を開始するタイミングを選択する（お買い上げ時の設定は［ここから3秒間］）。

– ［音声記録］
［入］（ ）にすると、スローモーション映像に会話などを追加記録できる（お買い上げ時の設定は［切］）。
［テープに録画中］が表示されている約12秒間に録音する。

ご注意

- 撮影中の約3秒間には音声を記録できません。
- ［なめらかスロー録画］の画像は、通常撮影時より劣化します。

解除するには［終了］をタッチ。

PictBridge プリント

68ページをご覧ください。

USB 機能選択

USBケーブルで本機とパソコンをつないでパソコンに静止画を取り込んだり、PictBridge対応のプリンターと接続するときに使います。詳しくは付属のCD-ROM収録の「ファーストステップガイド」をご覧ください。

▶ **パソコン接続メモリースティック**
"メモリースティック　デュオ"に記録した画像をパソコンで見たり、パソコンに取り込むときに選択します。

PictBridge プリント

本機とPictBridge対応のプリンターを直接つないで、プリントするときに選択します（68ページ）。

デモモード

お買い上げ時の設定は[入]のため、カセットと"メモリースティック　デュオ"両方を取り出し、POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にすると約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

ちょっと一言

- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  - デモンストレーション中に画面をタッチ（約10分後に再開します）。
  - カセットか"メモリースティック　デュオ"を入れる。
  - POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」以外にする。

編集/変速再生メニュー

編集/変速再生の設定

操作方法は36ページをご覧ください。

変速再生

テープの動画再生時に変速再生できます。

① 再生中に、下記のボタンをタッチ。

再生方法	タッチするボタン
逆方向に再生*	[◀II<]（コマ送り）
スロー再生**	[スロー I▶] 逆方向には： [◀II<]（コマ送り）→ [スロー I▶]
コマ送り	一時停止中に[>II▶]（コマ送り） 逆方向へはコマ送り中に：[◀II<]（コマ送り）

* 画面上下や中央に横じまが入ることがありますが、故障ではありません。

** i HDV/DV端子（i.LINK）から出力される画像は、なめらかにスロー再生されません。

② [↩]→[×]をタッチ。

通常再生に戻すには、[▶ II]（再生/一時停止）を2回タッチ（「コマ送り」は1回）。

ご注意

- 音声は出ません。また、映像がモザイク状に残ることがあります。
- HDV規格の場合、一時停止や変速再生している映像を i HDV/DV端子（i.LINK）から出力することはできません。
- HDV規格で撮影したテープでは、次のとき画面が乱れます。
  - ピクチャーサーチ中
  - 逆方向再生中
- HDV規格では、逆方向へのスロー再生、逆方向へのコマ送りはできません。

録画操作

65ページをご覧ください。

エンドサーチ操作

実行
最後に撮影した場面の約5秒間が再生され、自動的に止まる。

中止
エンドサーチを中止する。

ご注意
- 撮影後にカセットを取り出すと、エンドサーチ操作はできなくなります。

基本設定メニュー

テープ撮影時の設定や、各種基本設定

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は36ページをご覧ください。

ビデオ HDV/DV

再生するときの信号を選びます。通常は[オート]に設定してください。
i.LINKケーブル接続時は HDV/DV端子(i.LINK)から入力/出力する信号を選びます。ここで選択した信号をテープに記録/再生します。

▶オート
テープ再生時、自動でHDV/DV規格の信号を切り換えて、再生する。
i.LINK接続時は、自動でHDV/DV規格の信号に切り換えて、 HDV/DV端子(i.LINK)から入出力して、記録/再生する。

HDV
テープ再生時、HDV規格で記録された部分のみ再生する。
i.LINK接続時はHDV規格の信号のみを HDV/DV端子(i.LINK)から入出力して、記録/再生する。また、パソコンなどと接続するときに選ぶ。

DV
テープ再生時、DV規格で記録された部分のみ再生する。
i.LINK接続時はDV規格の信号のみを HDV/DV端子(i.LINK)から入出力して、記録/再生する。また、パソコンなどと接続するときに選ぶ。

ご注意
- 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。
- [オート]を選ぶと、HDVとDVの信号が切り替わるときに一時画面が消えて、画像と音声が途切れます。
- [i.LINK DV変換]が[入]になっているときは、次の信号が出力されます。

– [オート]のときは、HDV信号はDVに変換され、DV信号はそのまま出力されます。
– [HDV]のときは、HDV信号はDVに変換され、DV信号の部分は出力されません。
– [DV]のときは、DV信号はそのまま出力され、HDV信号の部分は出力されません。

録画フォーマット

撮影する録画規格を選択できます。

▶HDV1080i(HDV1080i)
HDV規格の1080i方式で撮影する。

DV(DV)
DV規格で撮影する。

ご注意
- 撮影中の画像をi.LINK出力するときは、[i.LINK DV変換]もあわせて設定してください。

DV設定 DV

DV規格で撮影するときに選ぶことができます。

■ 録画モード

▶SP(SP)
テープへSP(標準)モードで録画する。

LP(LP)
テープへSPモードの1.5倍の録画時間で長時間録画する。

ご注意
- LPモードで録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- テープの途中でSP/LPモードを切り換えると、画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

■ ワイド切換

つなぐテレビの画像の比率に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶16:9 ワイド
ワイド(16:9)テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

4:3(4:3)
4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

ご注意
- 再生時に接続するテレビに合わせて[TVタイプ]を正しく設定してください(57ページ)。

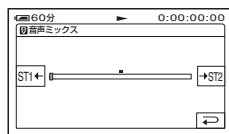
■ 音声モード

▶12BIT
テープへ12ビット(2つのステレオ音声)で記録する。

16BIT(♪16b)
テープへ16ビット(高音質で1つのステレオ音声)で記録する。

ご注意
- HDV規格のときは、自動的に[16BIT]で記録されます。

■ 音声ミックス

他機でアフレコや4CHマイク記録したテープの音声を再生時に確認できます。

ST1/ST2で撮影時の音声(ST1:ステレオ1)とアフレコした音声(ST2:ステレオ2)の音声バランスを調整し、OKをタッチ。

ご注意
- お買い上げ時は、ステレオ1の音のみが出る設定になっています。

音量

[−]/[+]をタッチして調節します(24ページ)。

ちょっと一言

- CAM CTRLダイヤルでも調節できます(22ページ)。

マイク音レベル

記録するときの音量を調節できます。

▶オート

自動で調節するときに選ぶ。

マニュアル

撮影または撮影スタンバイ中に、[－]/[＋]をタッチして音量を調節する。マイク音レベルを表したバーが表示されます。右にいくほどマイク音レベルが上がります。お買い上げ時以外の設定にすると、入力レベルメーターが表示されます。

ご注意

- ヘッドホンをつけて、レベルを確認しながら操作することをおすすめします。

パネル・VF 設定

設定を変更しても録画される画像に影響ありません。

■ パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① [－]/[＋]で調節する。

② [OK]をタッチ。

■ パネルバックライトレベル

液晶画面バックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル

通常の設定(標準の明るさ)。

明るい

画面が暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ パネル色のこさ

[－]/[＋]で液晶画面の濃さを調節できます。

[－] ▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮ [＋]

薄くなる ←→ 濃くなる

■ VFバックライト

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ノーマル

通常の設定(標準の明るさ)。

明るい

ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

コンポーネント出力

D端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

D1

D1/D2端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。

▶D3

D3/D4/D5端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。

i.LINK DV 変換

HDV規格の信号をDV規格に変換して HDV/DV端子(i.LINK)から出力します。

▶切

[録画フォーマット]と[ビデオ HDV/DV]の設定に従って、 HDV/DV端子(i.LINK)から信号を出力する。

入

i. HDV/DV端子(i.LINK)から出力される信号は、HDV規格の場合はDV変換され、DV規格の場合はそのままDV規格で出力する。

ご注意

- i.LINK入力については、[ビデオ HDV/DV]をご覧ください(54ページ)。
- 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

TV タイプ

テレビで見るときに、使用するテレビにあわせて信号の変換が必要です。撮影した画像は下記のように再生されます。

▶16:9

ワイドテレビで再生するときに選ぶ。

ワイド(16:9)画像 **4:3画像**

4:3

4:3テレビで再生するときに選ぶ。

ワイド(16:9)画像 **4:3画像**

ご注意

- i.LINKの出力には無効です。
- ID-1対応テレビやテレビのS(S1、S2)映像入力端子につないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り替わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

表示ガイド

109ページをご覧ください。

ステータスチェック

次の項目の設定値を確認できます。

- [ビデオ HDV/DV](POWERスイッチが「PLAY/EDIT」のとき)(54ページ)
- [コンポーネント出力](56ページ)
- [i.LINK DV変換](56ページ)
- [TVタイプ](57ページ)
- HDMI出力(102ページ)

ガイドフレーム

[入]にすると、フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。

フレームは記録されません。DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、フレームを消せます。

ちょっと一言

- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

センターマーカー

- [入]にすると画面の中心にマーカーを表示して、画面の中心がどこかを確認できます。マーカーは記録されません。DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、マーカーを消せます。

カラーバー

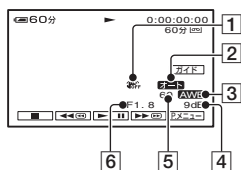
[入]にするとカラーバーを表示したり、テープに記録することができます。接続したモニターの色を調整するときに便利です。

日時/カメラデータ表示

撮影時に自動的に記録された情報（日時やカメラデータ）を再生時に表示できます。

▶切
日時やカメラデータを表示しない。

日付時刻データ
日付、時刻を表示。

カメラデータ（下記）
カメラデータを表示。

1 手ブレ補正
2 明るさ調節
3 ホワイトバランス
4 ゲイン
5 シャッタースピード
6 絞り値

ご注意
- “メモリースティック　デュオ”の静止画再生時は、露出補正値（0EV）とシャッタースピード、絞り値が表示されます。
- フラッシュを使って撮影した画像は、⚡ が表示されます。
- ［日付時刻データ］のときは、同じエリアに日時が表示されます。日時、時刻を設定せずに撮影すると、［---- -- --］と［--:--:--］が表示されます。
- かんたん操作時はメニュー項目名称が［日時/カメラデータ表示］から［日時データ表示］に変わり、［日付時刻データ］のみ設定できます。

残量表示

▶オート
次のときにテープ残量を約8秒間表示する。
- カセットが入った状態でPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」か「CAMERA-TAPE」にしたとき
- ▶ II（再生/一時停止）をタッチしたとき

入
テープ残量を常に表示する。

リモコン

お買い上げ時の設定は［入］のため、付属のワイヤレスリモコン（105ページ）が使えます。

ちょっと一言
- ［切］に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

録画ランプ

［切］に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しないようにできます（お買い上げ時の設定は［入］）。

操作音

▶入
撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切
操作音、シャッター音を出さない。

画面表示出力

▶パネル
タイムコードなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

ビデオ出力/パネル
画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

メニュー操作方向

▶ノーマル
▲ をタッチするとメニュー項目が下に回転する。

逆方向
[▲]をタッチするとメニュー項目が上に回転する。

自動電源オフ

▶5分後
何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし
自動的に電源は切れない。

ご注意
- コンセントにつないで使うと自動的に[なし]になります。

キャリブレーション

94ページをご覧ください。

クイック録画 HDV1080i

[入]にすると、START/STOPボタンを押して撮影開始するまでの時間を少し短縮することができます。録画チャンスを逃したくないときに便利です。

▶切
撮影開始までの時間は少しかかるが、つなぎめがきれいに撮れる。

入(Q.REC)
POWERスイッチが「OFF(CHG)」、または撮影スタンバイが解除された状態からの撮影開始時間を短縮できる。

ご注意
- [入]にすると、場面と場面の間が一瞬止まります。(パソコンでの編集をおすすめします。)

ちょっと一言
- 撮影スタンバイの状態が約3分以上続くと、自動的にドラムの回転が止まり、スタンバイ状態が解除されます。これはテープを保護し、バッテリーの消耗を防ぐためです。

時間設定メニュー

操作方法は36ページをご覧ください。

日時あわせ

13ページをご覧ください。

時差補正

海外で使うときは、[－]/[＋]で時差を設定し、現地時刻に合わせる。
時差を0に設定すると元の設定に戻る。

パーソナルメニューを変更する

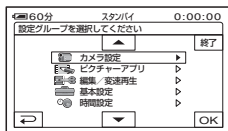
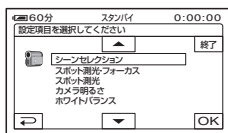
希望のメニュー項目を、電源ランプの位置ごとに、パーソナルメニューに登録できます。よく使う項目を登録しておくと便利です。

項目を追加する

電源ランプの位置ごとに、最大28項目まで登録できます。登録数がいっぱいのときは、不要な項目を削除してください。

1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[追加]をタッチ。

画面にないときは、[∧]/[∨]をタッチして表示させる。

2 [▲]/[▼]で設定項目を選び、[OK]をタッチ。

3 [▲]/[▼]で項目を選び、[OK]→[はい]→[X]をタッチ。

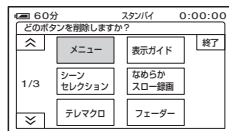
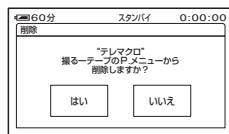
項目がパーソナルメニューの最後に追加される。

項目を削除する

1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[削除]をタッチ。

画面にないときは、[∧]/[∨]をタッチして表示させる。

2 削除する項目をタッチ。

3 [はい]→[X]をタッチ。

ご注意

- [メニュー]と[P.メニュー設定]は削除できません。

表示位置を並べ替える

1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[並べ替え]をタッチ。

画面にないときは、[∧]/[∨]をタッチして表示させる。

2 移動する項目をタッチ。

3 [▲]/[▼]で項目を移動する。

4 [OK]をタッチ。

続けて並べ替えるときは手順**2**～**4**を行う。

5 [終了]→[×]をタッチ。

ご注意

- [P.メニュー設定]は並べ替えられません。

お買い上げ時の設定に戻す（リセット）

[P.メニュー]→[P.メニュー設定]→[リセット]→[はい]→[はい]→[×]をタッチ。

画面にないときは、[⌃]/[⌄]をタッチして表示させる。

ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングする

電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(10ページ)。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する

ビデオ、DVD/HDDレコーダーの種類や接続する端子によって、接続方法や取り込まれる画質が異なります。

ちょっと一言
- [つなげるガイド]を使うと、お使いの機器に最適な接続方法を本機がアドバイスします(27ページ)。

:信号の流れ

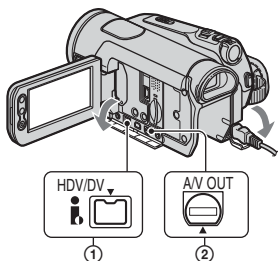
本機の端子	必要なケーブル	接続する端子	接続する機器
①	i.LINKケーブル(付属)	i.LINK	HDV1080i方式対応機器* →HD画質
①	i.LINKケーブル(付属)	i.LINK	i.LINK端子付きのAV機器 →SD画質
②	S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(別売り) (白) (赤) (黄)	S(S1,S2)ビデオ 映像 音声	S(S1、S2)映像端子付きのAV機器 →SD画質
②	A/V接続ケーブル(付属) (黄) (白) (赤)	映像 音声	映像、音声端子付きのAV機器** →SD画質

* HDV1080i方式対応のi.LINK端子が必要です。詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

** モノラル(ひとつの音声入力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつないでください。

ご注意
- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。
- DV規格で撮影した画像は、どの接続でもSD（標準）画質でダビングされます。

本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。

i.LINKケーブル（付属）でつなぐときは

下記の表でダビングしたい規格を選び、必要なメニュー設定を行ってください。

ご注意
- メニュー設定を変える前に、i.LINKケーブルを抜いてください。つないでから設定を変えると、ビデオ、DVD/HDDレコーダーが映像信号を正しく認識できないことがあります。

テープに記録したフォーマット	ダビングしたい規格	メニュー設定	
		[ビデオ HDV/DV]	[i.LINK DV変換]
HDVのみ	HDV*1	[オート]またはHDV	[切]
	DV	[オート]	[入]
HDVとDVの混在	HDV*1	[オート]またはHDV*2	[切]
	DV	[オート]*3	[入]
DVのみ	DV	[オート]またはDV	―

*1 ビデオ、DVD/HDDレコーダーがHDV1080i方式に対応している必要があります。

*2 DV規格で記録した部分はダビングされません。

*3 HDV規格で記録した部分とDV規格で記録した部分のどちらもダビングされます。

ご注意
- [ビデオ HDV/DV]が[オート]のときは、HDVとDVの信号が切り替わるときに一時画面が消えて、画像と音声が途切れます。
- 再生側と録画側の両方にHDR-HC9などのHDV1080i方式対応機器を使用して、i.LINKケーブルで接続したときは、録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- A/V接続ケーブルでつなぐときは、[画面表示出力]を[パネル]（お買い上げ時の設定）にしてください（58ページ）。

S（S1、S2）端子つきのA/V接続ケーブル（別売り）でつなぐときは

映像プラグ（黄色）のかわりにS（S1、S2）映像端子を接続してください。A/V接続ケーブルでの接続に比べ、画像をより忠実に再現できます。S映像ケーブルのみをつないだ場合、音声は出力されません。

ダビングする

1 本機（再生側）の準備をする。

撮影済みのカセットを入れる。
POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 ビデオには録画用カセット、DVDレコーダーには録画用DVDを入れる。

入力切り換えスイッチがある場合は「入力」（ビデオ1、ビデオ2入力など）にする。

3 本機と録画側の機器（ビデオ、DVD/HDDレコーダー）をつなぐ。

接続について詳しくは、62ページをご覧ください。

4 本機で再生を始め、録画側の機器で録画を始める。

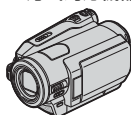
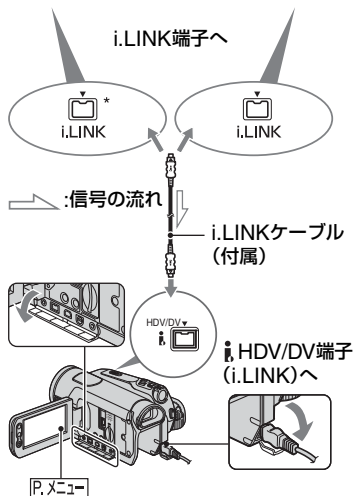
詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、録画側の機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

ご注意

- A/V接続ケーブルでつなぐときは、再生機器（テレビなど）に合わせて、[TVタイプ]を設定してください（57ページ）。
- A/V接続ケーブルでつないで日時やカメラデータなどをダビングしたいときは、それらを表示させてください（58ページ）。
- HDV/DV端子（i.LINK）接続では、次のものは録画されません。
  - 画面表示
  - [ピクチャーエフェクト]（51ページ）/[デジタルエフェクト]（51ページ）を加えた画像
  - 他機で付けたタイトル
- HDV規格の場合は、再生一時停止中の画像や変速再生している画像はHDV/DV端子（i.LINK）から出力されません。
- i.LINKケーブル接続時は、次のことにご注意ください。
  - 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなることがあります。
  - ご使用する機器やアプリケーションなどによっては日時やカメラデータが表示、記録されないことがあります。
  - 映像または音声のみを記録することはできません。
- i.LINKケーブルで接続してダビングするとき、DVDレコーダー側から本機の操作が可能と説明されている機器でも操作ができない場合があります。DVDレコーダーの入力モードを「HDV」または「DV」に切り換えるなどして映像の入出力が可能なときは、「ダビングする」の手順でダビングしてください。
- ソニー製DVDレコーダーとのi.LINKケーブル接続について詳しくは、下記のURLをご覧ください（2007年12月現在）。
  http://www.sony.jp/products/i-link/
- i.LINKケーブル接続時は、デジタル信号でやりとりをするので画質・音質の劣化がほとんどありません。
- i.LINKケーブル接続時は、出力される信号の規格（HDVOUT i.LINK またはDVOUT i.LINK）が本機の液晶画面に表示されます。

ビデオなどの画像を本機で録画する i.LINK

ビデオの動画を本機のテープに録画できます。"メモリースティック　デュオ"には静止画として記録できます。
あらかじめ、本機に録画用テープまたは"メモリースティック　デュオ"を入れておいてください。本機とビデオなどのi.LINK対応機器をi.LINKケーブルでつなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（10ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

* HDV1080i 方式対応の i.LINK 端子が必要です。

動画を録画する

1 本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 本機の入力信号を設定する。

HDV対応機器から録画するときには［ビデオ HDV/DV］を［オート］にする。
DV対応機器から録画するときには［ビデオ HDV/DV］を［DV］または［オート］にする（54ページ）。

3 ビデオなどを再生機としてi.LINKケーブルでつなぐ。

ご注意

- i.LINKケーブル接続時は、入力される信号の規格（HDVIN i.LINK またはDVIN i.LINK ）が本機の液晶画面に表示されます。（再生側の画面にも表示されることがありますが、録画はされません。）

4 ビデオにダビングするカセットを入れる。

5 本機で録画操作する。

P.メニュー →［録画操作］→［録画ポーズ］をタッチ。
選択したい項目が画面にないときは、∧/∨をタッチして表示させる。

6 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の画面に映ります。

7 録画を開始したい画面で［録画スタート］をタッチ。

ダビングや編集をする

次のページへつづく→

8 録画を止める。

[■]（停止）または［録画ポーズ］をタッチ。

9 [↩]→[×]をタッチ。

ご注意

- テレビ放送などの番組を i HDV/DV端子（i.LINK）から録画することはできません。
- DV機器から画像を録画するとき、HDV規格で録画することはできません。
- 接続時は、次のことにご注意ください。
  - 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなることがあります。
  - 映像または音声のみを記録することはできません。
  - 録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- 4：3の映像信号を入力すると、本機の画面には左右が黒く表示されます。

静止画を記録する

1 「動画を録画する」の手順1～4を行う。

2 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の液晶画面に映ります。

3 記録したい場面でPHOTOボタンを軽く押し、画像を確認したら深く押す。

テープの画像を“メモリースティック　デュオ”に取り込む

テープに録画した動画からお好みの場面を静止画として“メモリースティック　デュオ”に記録できます。あらかじめ録画済みのテープと“メモリースティック　デュオ”を入れておいてください。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 場面を探して、取り込む。

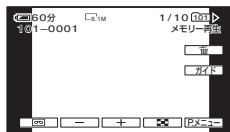
[▶ II]（再生）をタッチしてテープを再生し、取り込む場面でPHOTOボタンを軽く押し、画面を確認して深く押す。

ご注意

- テープに記録された日時と“メモリースティック　デュオ”に取り込んだときの日時が記録されます。本機ではテープに記録されたときの日時が表示されます。テープに記録されたカメラデータは記録できません。
- 再生している画像がHDV規格のとき、画像サイズは1.2Mになります。再生している画像がDV規格でワイド（16:9）のとき、画像サイズは0.2Mに、4：3のときはVGA（0.3M）になります（48ページ）。
- 再生ズームを使用中は、取り込むことはできません（26ページ）。

“メモリースティック　デュオ”の画像を消す

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 [メモリー]をタッチ。

3 [－]/[＋]で削除する画像を表示させる。

4 [削除]→[はい]をタッチ。

ご注意
- いったん削除した画像は元に戻せません。
- “メモリースティック　デュオ”が誤消去防止になっているとき（88ページ）やプロテクトされている画像（68ページ）は削除できません。

ちょっと一言
- すべての画像を消去するには、メニューの［全消去］（49ページ）で削除します。
- インデックス表示画面（25ページ）で、[設定]→［削除］→削除する画像→[OK]→［はい］をタッチしても画像を削除できます。6枚ずつ画像を一覧できるので、消す画像を簡単に探せます。

“メモリースティック　デュオ”の画像にマークをつける（プリントマーク / プロテクト）

誤消去防止スイッチ付きの“メモリースティック　デュオ”のときは、あらかじめ誤消去防止を解除してください（89ページ）。

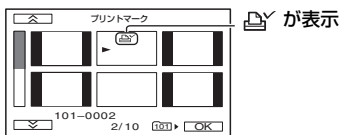
静止画にプリント用のマークを付ける（プリントマーク）

本機はプリントする画像を選択できるDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応のため、マークを付けると、プリント時に選び直す必要がありません（プリント枚数は指定できません）。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 [メモリー]→[インデックス]→[設定]→［プリントマーク］をタッチ。

3 プリントマークを付ける画像をタッチ。

が表示

4 [OK]→［終了］をタッチ。

ご注意
- プリントマークをはずすには、手順**3**で、はずす画像をもう1度タッチ。

ダビングや編集をする

次のページへつづく→

“メモリースティック　デュオ”の画像にマークをつける(プリントマーク/プロテクト)(つづき)

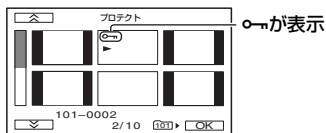
- 他機でプリントマークを付けた画像が“メモリースティック　デュオ”に入っているときに本機でプリントマークを付けると、他機でプリントマークをつけた画像の情報が変更される場合があります。

記録した画像を保護する(プロテクト)

画像に誤消去防止(プロテクト)指定できます。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 [メモリー]→[■]→[設定]→[プロテクト]をタッチ。

3 プロテクトする画像をタッチ。

4 [OK]→[終了]をタッチ。

ご注意

- プロテクトをはずすには、手順**3**ではずす画像をもう1度タッチ。

記録した画像を印刷する(PictBridge 対応プリンター)

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコン無しで印刷できます。

PictBridge

本機と付属のACアダプターを使って、電源はコンセントから取ってください(10ページ)。

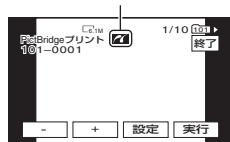
あらかじめ、本機に静止画を記録した“メモリースティック　デュオ”を入れて、プリンターの電源を入れてください。

1 本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 USBケーブルで本機の (USB)端子とプリンターをつなぐ。

液晶画面に自動で[USB機能選択]が表示される。

3 [PictBridge プリント]をタッチ。

本機とプリンターの接続が完了すると画面に (PictBridge接続中)が表示される。

“メモリースティック　デュオ”に記録されている画像が表示される。

4 [－]/[＋]で印刷する画像を選ぶ。

5 [設定]→[印刷部数]をタッチ。

6 [－]/[＋]で印刷部数を設定する。

1枚の静止画で最大20枚まで印刷部数を設定できる。

7 [OK]→[終了]をタッチ。

日時を入れて印刷するには、[設定]→[日付/時刻]→[年月日]または[日時分]→[OK]をタッチ。

8 [実行]→[はい]をタッチ。

印刷が完了すると[プリント中です]の表示が消え、画像選択画面に戻る。

印刷を終了するには

画像選択画面で、[終了]をタッチ。

ご注意

- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。
- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面に が表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  – POWERスイッチを切り換える。
  – プリンターもしくは本機からUSBケーブルを抜く。
  – 本機から"メモリースティック　デュオ"を抜く。
- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターによっては、画像の上下左右が切れる場合があります。特に画像がワイド(16:9)のときは、左右が大きく切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機以外の機器で撮影した画像の印刷に関しては保証いたしません。

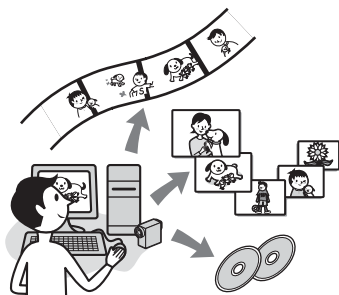
ちょっと一言

- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。
- 次の順番で操作しても同じです。
  – [P.メニュー]→[メニュー]→ ピクチャーアプリ→[USB機能選択]→[PictBridge プリント]をタッチ。
  – [P.メニュー]→[メニュー]→ ピクチャーアプリ→[PictBridge プリント]をタッチ。

ダビングや編集をする

Windowsパソコンでできること

付属のCD-ROMからWindowsパソコンに、「Picture Motion Browser」をインストールすると、次のような操作を楽しむことができます。

ご注意
- 付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」はMacintoshに対応していません。

主な機能

■ 本機で記録した画像をパソコンに取り込む
HD(ハイビジョン)画質で記録した画像をHD(ハイビジョン)画質のまま取り込むことができます。

■ 取り込んだ画像を閲覧する
撮影した日付ごとに管理でき、サムネイル表示から選んで見ることができます。拡大表示やスライドショーでの再生もできます。

■ 取り込んだ画像を編集する
動画のカット編集や静止画の加工ができます。

■ ディスクを作成する
取り込んだ動画を素材として、DVDビデオを作ることができます。ディスクの画質はSD(標準)になります。

■ パソコンに保存した動画を本機に書き戻す
HD(ハイビジョン)画質で本機に書き戻すことができます。

「ファーストステップガイド」について

「ファーストステップガイド」はパソコンで見ることができるマニュアルです。本機とパソコンの接続や初期設定から、CD-ROM(付属)に含まれているソフトウェア「Picture Motion Browser」を初めて使うときに必要な基本操作までを説明しています。
「「ファーストステップガイド」をインストールする」(72ページ)をご覧になりながらインストールしたあとに、「ファーストステップガイド」を起動して手順に従ってください。

ソフトウェア付属のヘルプのご案内

ソフトウェアのすべての機能を説明しています。「ファーストステップガイド」で操作の概要を理解したうえで、さらに詳しい操作方法を知りたいときは、ヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、画面上の[?]マークをクリックしてください。

ご注意
- 市販の編集ソフトウェアを使ってパソコンに動画を取り込む場合も、本機側の設定が必要になります。詳しくは「ファーストステップガイド」をご覧ください。

パソコン環境について

「Picture Motion Browser」を使うときのパソコン環境

対応OS： Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP SP2*/Windows Vista*
*64bit版は除く
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
HD（ハイビジョン）画質の動画を扱う場合にはWindows XP SP2もしくはWindows Vistaが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: Intel Pentium 4 2.8GHz以上（Intel Pentium 4 3.2GHz以上/Intel Pentium D/Intel Core Duoを推奨します。）
ただし、SD（標準）画質のコンテンツのみを扱う場合は、Pentium III 1GHz以上が必要です。

必要なソフトウェア： DirectX 9.0c以降（DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用の際はDirectXが組み込まれている必要があります。）

サウンドカード： Direct Sound対応のサウンドカード

メモリー： 512MB以上（1GB以上を推奨します。）
ただし、SD（標準）画質のコンテンツのみを扱う場合は、256MB以上が必要です。

ハードディスク：
インストールに必要なディスク容量：約500MB

ディスプレイ： 解像度は1,024×768ドット以上

その他必要な装置： USB端子標準装備（Hi-Speed USB(USB2.0準拠）対応を推奨）、DV端子（IEEE 1394、i.LINK接続時）、DVD作成が可能なディスクドライブ（インストールにはCD-ROMドライブが必要）

“メモリースティック　デュオ”の画像をパソコンで見るときのパソコン環境

対応OS： Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP SP2*/Windows Vista*
*64bit版は除く
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合は動作保証いたしません。

その他必要な装置： USB端子標準装備

ご注意

- その他、各OSが求める動作環境を満たしていることが必要です。
- すべてのパソコン環境についての動作を保障するものではありません。
例えば、バックグランドで動作している他のソフトウェアが動作に影響を与える場合があります。
- 動作保障されているパソコン環境でも、HD（ハイビジョン）画質の画像がコマ落ちしてなめらかに再生できない場合があります。取り込んだ画像や作成するディスクの画質には影響ありません。
- ノートパソコンをご使用の場合、パソコンをACアダプターにつないでご使用ください。パソコンの省電力機能により、正常に動作しない場合があります。

ちょっと一言

- パソコンにメモリースティック　スロットがある場合は、画像を保存した“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプター（別売り）に入れてから、パソコンのメモリースティック　スロットに差し込んで画像を取り込むこともできます。
- “メモリースティック　PRO　デュオ”をお使いの際にパソコンが“メモリースティック　PRO　デュオ”に対応していない場合は、パソコンのメモリースティック　スロットを使用せずに本機をUSBケーブルでつないでください。

「ファーストステップガイド」やソフトウェアをインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「ファーストステップガイド」とソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からインストールは不要です。
パソコンのOSによってインストールする内容や手順が異なります。

ちょっと一言
- Macintoshをお使いのときは、75ページをご覧ください。

「ファーストステップガイド」をインストールする

1 パソコンに本機がつながれていないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

ご注意
- Administrator権限/コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

インストール画面が表示される。

インストール画面が表示されないときは

① [スタート]→[マイ コンピュータ]の順にクリックする。(Windows 2000の場合は、[マイ コンピュータ]をダブルクリックする。)

② [SONYPICTUTIL (E:)](CD-ROM)* をダブルクリックする。

*ドライブ文字((E:)など)は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 [ファーストステップガイド]をクリックする。

5 プルダウンメニューで[日本語]とお使いの機種名を選ぶ。

6 [ファーストステップガイド(HTML)]をクリックする。

インストールが始まります。
完了すると、[保存を完了しました。]が表示されます。[OK]をタッチして終了します。

PDF形式の「ファーストステップガイド」を見るには

手順**6**で、[ファーストステップガイド(PDF)]をクリックする。

PDFを見るためのソフトウェア「Adobe Reader」をインストールするには

手順**6**で、[Adobe(R) Reader(R)]をクリックする。

ソフトウェアをインストールする

1 「「ファーストステップガイド」をインストールする」(72ページ)の手順**1**～**3**を行う。

2 [インストール]をクリックする。

3 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

4 お住まいのエリア、国/地域を確認し、[次へ]をクリックする。

インストールするソフトウエアに対して、国/地域ごとの設定を行います。

5 [使用許諾契約]の内容をよく読み、同意される場合は[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする。

6 接続確認の画面が表示されたら、本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

7 i.LINKまたはUSBケーブルでパソコンに接続する。
USBケーブルで接続した場合は、本機に[USB機能選択]画面が表示されるので、[パソコン接続メモリースティック]を選択する。接続が完了したら[次へ]をクリックする。

パソコンの再起動を求める画面が表示される場合がありますが、ここでは再起動を行う必要はありません。インストール完了後に再起動を行ってください。

8 表示された指示に従って、ソフトウェアをインストールする。

お使いの環境により、以下のインストール画面が表示された場合は、画面の指示に従ってインストールする。

- ■ i-Jumpエンジン V.3.5ー画像を携帯電話やパソコンに送ることができるソフトウェア
- ■ Microsoft DirectX 9.0cー動画を扱うために必要なソフトウェア
- ■ Windows Media Format 9 Series Runtime (Windows 2000のみ)ーDVD作成に必要なソフトウェア

次のページへつづく➡

「ファーストステップガイド」やソフトウェアをインストールする（つづき）

パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動する。

9 パソコンからCD-ROMを取り出す。

デスクトップ画面に[ ]（「Picture Motion Browser」）などのショートカットが表示されます。

ちょっと一言

- ケーブルのはずしかたは、「ファーストステップガイド」をご覧ください。

「ファーストステップガイド」を見る

「ファーストステップガイド」は、Microsoft Internet Explorer Ver.6.0以上で見ることをおすすめします。
デスクトップ上のお使いの機種名の「ファーストステップガイド(HTML)」のショートカットをダブルクリックする。

ちょっと一言

- [スタート]→[プログラム]（Windows XPをお使いのかたは[すべてのプログラム]）→[Sony Picture Utility]→[ファーストステップガイド]→お使いの機種名のフォルダ→HTML形式の「ファーストステップガイド」を選んで、起動させることもできます。
- 「ファーストステップガイド」をインストールせずにHTML形式でご覧になる場合は、CD-ROMの[FirstStepGuide]にある言語フォルダをパソコンにコピーし、[Index.html]をダブルクリックしてください。
- 次のときはお使いの機種名の「ファーストステップガイド（PDF）」をご覧ください（72ページ）。
  - 「ファーストステップガイド」を印刷したい。
  - ブラウザの設定により、推奨環境でも正常に表示されない。
  - HTML形式でインストールできない。
- 「Picture Motion Browser」のサポート情報は、次のURLをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/support-disoft/

Macintosh をお使いのときは

Macintoshでは、“メモリースティック デュオ”の静止画を取り込むことができます。
ここでは、CD-ROM(付属)に含まれている「ファーストステップガイド」をインストールします。

ご注意

- 付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」はMac OSに対応していません。
- 市販の編集ソフトウェアを使ってMacintoshに動画を取り込む場合も、本機側の設定が必要になります。詳しくは「ファーストステップガイド」をご覧ください。

パソコン環境について

“メモリースティック デュオ”の画像をMacintoshで取り込むときのパソコン環境

対応OS: Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X (v10.1/v10.2/v10.3/v10.4)

その他必要な装置: USB端子標準装備

「ファーストステップガイド」について

「ファーストステップガイド」はMacintoshで見ることができるマニュアルです。本機とMacintoshの接続や初期設定から、静止画の取り込み方法など、初めて使うときに必要な基本操作までを説明しています。
「「ファーストステップガイド」をインストールする」をご覧になりながらインストールしたあとに、「ファーストステップガイド」を起動して手順に従ってください。

「ファーストステップガイド」をインストールするには

CD-ROMの[FirstStepGuide]にある言語フォルダーの中の「FirstStepGuide.pdf」をコピーする。

「ファーストステップガイド」を見るには

「FirstStepGuide.pdf」をダブルクリックする。
PDFを見るためのソフトウェアがMacintoshにインストールされていない場合は、下記のホームページからAdobe Readerをダウンロードしてください。
http://www.adobe.co.jp

サポートのご案内

Macintoshとの接続方法など
http://www.sony.co.jp/cam/support/

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

全体操作/かんたん操作/リモコンについて

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（10ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（10ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET（リセット）ボタン（103ページ）を先のとがったもので押す。（パーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除される。）

ボタンが操作できない。

- かんたん操作中は使えるボタンが限られます（18ページ）。

かんたん操作にすると、設定が変わる。

- かんたん操作に設定すると、本機の一部の設定はお買い上げ時の設定に戻る（18、37ページ）。

メニュー項目の設定が変わってしまう。

- 次の設定は、電源を「OFF(CHG)」にして12時間以上経つと、自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。
  - 逆光補正
  - ［シーンセレクション］
  - ［スポット測光･フォーカス］
  - ［スポット測光］
  - ［カメラ明るさ］
  - ［ホワイトバランス］
  - ［シャッタースピード］
  - ［スポットフォーカス］
  - ［フォーカス］
  - ［DV設定］の［音声ミックス］DV
  - ［マイク音レベル］

本体があたたかくなる。

- 本機使用中に本体があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- ［リモコン］を［入］にする（58ページ）。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- 電池を交換する。電池の＋極と－極を正しく入れる（105ページ）。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをVTR2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

バッテリー/電源について

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更する（59ページ）か、もう1度電源を入れる（13ページ）、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する（10ページ）。

バッテリーの充電中、ϟ/CHG（充電）ランプが点灯しない。

- POWERスイッチを「OFF(CHG)」にする（10ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（10ページ）。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している（10ページ）。

バッテリーの充電中、ϟ/CHG（充電）ランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります（12ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（10ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーの相談窓口に問い合わせる（裏表紙）。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（10、91ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（10、91ページ）。

液晶画面/ファインダーについて

液晶画面バックライトを「切」にできない。

- かんたん操作中はDISPLAY/BATT INFOボタンを長押しする操作はできません（18ページ）。

画面表示を消すことができない。

- [ⓘ]を消すことはできません。[ⓘ]をタッチしてお知らせメッセージを確認する（86ページ）。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- DISPLAY/BATT INFOボタン（またはリモコンのDISPLAYボタン）を押す（14、105ページ）。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- タッチパネルを調節（[キャリブレーション]）する（94ページ）。

メニュー項目が灰色で表示される。

- その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります（83ページ）。

[P.メニュー]が表示されない。

- かんたん操作中は使用可能なメニューが限られます。かんたん操作を解除する（18ページ）。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす（14ページ）。

次のページへつづく➡

ファインダーの画像が消えている。

- 液晶画面を閉じる。液晶画面が開いているとファインダーには画像は映りません（14ページ）。

カセット/"メモリースティック　デュオ"について

カセットが取り出せない。

- 電源（バッテリーやACアダプター）が正しく接続されているか確認する（10ページ）。
- 本機が結露しかけている（93ページ）。

カセットメモリー付きカセットで、カセットメモリー表示やタイトル表示が出ない。

- 本機は、カセットメモリーに対応していないため、表示されません。

テープ残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[残量表示]を[入]にする（58ページ）。

テープの巻き戻し、早送り時の音が大きい。

- ACアダプター使用時は、バッテリー使用時より高速になるため音が大きくなります。故障ではありません。

"メモリースティック　デュオ"を入れても、操作を受け付けない。

- POWERスイッチを「CAMERA-MEMORY」または「PLAY/EDIT」にする（13ページ）。
- パソコンでフォーマットした"メモリースティック　デュオ"を入れている場合は、本機でフォーマットし直す（49ページ）。

テープの画像を削除できない。

- テープの画像は削除できません。新たに撮影する場合は、テープを巻き戻し、録画を開始すると上書きで記録される。

"メモリースティック　デュオ"の画像消去、フォーマットができない。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック　デュオ"は、誤消去防止を解除する（89ページ）。
- プロテクトを解除する（68ページ）。
- インデックス表示で一度に消せる画像は100枚までです。

プロテクト、プリントマークが実行できない。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック　デュオ"は、誤消去防止を解除する（89ページ）。
- インデックス表示にしてから、プロテクトを実行し直す（25、68ページ）。
- プリントマークは1,000枚以上付けられません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う（89ページ）。

撮影について

「カセット/"メモリースティック　デュオ"について」（78ページ）もご覧ください。

START/STOPボタンを押しても、テープが走行しない。

- POWERスイッチを「CAMERA-TAPE」にする（19ページ）。
- テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。
- カセットの誤消去防止ツマミをRECにする。または新しいカセットを入れる（88ページ）。

- 結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してから入れ直す（93ページ）。

"メモリースティック デュオ"に記録できない。

- "メモリースティック デュオ"の空き容量がない。新しい"メモリースティック デュオ"を入れるか、フォーマットする（49ページ）。または不要な画像を削除する（67ページ）。
- POWERスイッチが「CAMERA-TAPE」で、次の設定のときは"メモリースティック デュオ"に静止画を記録することはできません。
  – ［シャッタースピード］の設定が1/725秒～1/10000秒のとき
  – ［フェーダー］実行中
  – ［デジタルエフェクト］
  – ［ピクチャーエフェクト］
  – ［なめらかスロー録画］
  – ［カラーバー］

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

テープできれいにつなぎ撮りできない。

- エンドサーチする（28ページ）。
- カセットを取り出さない（電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます）。
- 同じテープにHDV規格とDV規格の映像を混在させない。
- 同じテープにSPとLPの両モードを混ぜてつなぎ撮りしない。DV
- LPモードでつなぎ撮りしない。DV
- ［クイック録画］が［入］のときは、きれいにつなぎ撮りできません（59ページ）。HDV1080i

フラッシュが発光しない。

- テープ撮影中、フラッシュ撮影はできません。
- 自動調節や⊙（自動赤目軽減）にしていても、次の設定のときフラッシュは自動発光しません。
  – ［シーンセレクション］の［夜景］、［キャンドル］、［日の出＆夕焼け］、［打ち上げ花火］、［風景］、［スポットライト］、［ビーチ］または［スノー］
  – ［スポット測光·フォーカス］
  – ［スポット測光］
  – ［カメラ明るさ］の［マニュアル］

エンドサーチができない。

- 撮影後にカセットを取り出さない（28ページ）。
- カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1回も撮影していない。
- テープの始めや途中に無記録部分があるためで、故障ではありません。

[COLOR SLOW S]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、[COLOR SLOW S]が正しく働かないときがあるため、NightShotまたは[SUPER NS]で撮影する。

[SUPER NS]ができない。

- NIGHTSHOTスイッチが「入」になっていない（23ページ）。

オートフォーカスができない。

- ［フォーカス］を［オート］にする（43ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（43ページ）。

[手ブレ補正]ができない。

- ［手ブレ補正］を［入］にする（46ページ）。

逆光補正ができない。

- かんたん操作中は、逆光補正ができません（18ページ）。

[フラッシュレベル]を変更できない。

- かんたん操作中は、[フラッシュレベル]（44ページ）を変更できません。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- シャッタースピードが遅いとき、[SUPER NS]、[COLOR SLOW S]のときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、非常に速くレンズの前を横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画像の色が正しくない。

- NightShotを解除する（23ページ）。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NightShot（23ページ）、逆光補正（23ページ）を解除する。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISPLAY/BATT INFOボタンを数秒間押したままにして、バックライトを点灯させる（14ページ）。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。
- シャッタースピードを調節すると改善されることがある（42ページ）。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [シャッタースピード]を調節する（42ページ）。

再生について

「カセット/"メモリースティック　デュオ"について」（78ページ）もご覧ください。

テープ再生ができない。

- POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。
- テープを巻き戻す（24ページ）。

逆方向に変速再生ができない。

- HDV規格で記録したテープではできません。

"メモリースティック　デュオ"の画像データが再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります（ファイル名が点滅）。故障ではありません（90ページ）。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません（90ページ）。

画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかったりする。

- ビデオヘッドが汚れているので、別売りのクリーニングカセットできれいにする（94ページ）。

他機で4CHマイク記録した音声が聞こえない。DV

- [P/V 音声ミックス]を調整する（55ページ）。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [シャープネス]で[－]側に調整する（42ページ）。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする（24ページ）。

- [音声ミックス]を[ST2]側(アフレコ音声)から最適な音声になるまで調節する(55ページ)。
- S映像プラグまたはD端子コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため。A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(30ページ)。
- [なめらかスロー録画]で録画中の約3秒間には音声を記録できません。

画像や音声が途切れる。

- 同じテープにHDV規格とDV規格の映像を混在させたときに起こる症状で、故障ではありません。

画像が一瞬静止画になる、音声が途切れる。

- テープやビデオヘッドに付着物があるときに起こる症状です(94ページ)。
- ソニー製のミニDVカセットを使用する。

[− − −]が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画したテープを再生している。
- テープの無記録部分を再生している。
- テープに傷やノイズがあると、日時やカメラデータを読めません。

日付サーチが正しく操作できない。

- 日付を変更したときは、2分以上撮影する。撮影時間が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの始めや途中に無記録部分があると、日付サーチが正しく働かないことがあります。故障ではありません。

エンドサーチ、レックレビューのときに画像が出ない。

- 同じテープにHDV規格とDV規格の映像を混在させたときに起こる症状で、故障ではありません。

画面上に♪4ch-12bが表示される。

- 他機で4CHマイク記録されたテープを再生しているときに表示されます。本機は4CHマイク記録には対応していません。

テレビでの再生について

i.LINKケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- テレビがHDV1080i方式に対応していない場合は、HD(ハイビジョン)画質で見ることはできません(30ページ)。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDV規格で撮影した映像をDV規格にダウンコンバートして、SD(標準)画質で再生する(56ページ)。
- 他の接続ケーブルで接続して再生する(30ページ)。

D端子コンポーネントビデオケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 接続する機器に合わせて 基本設定メニューの[コンポーネント出力]を正しく設定する(56ページ)。
- D端子コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため。A/V接続ケーブルの白と赤のプラグも合わせてつなぐ(30ページ)。

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されているDV規格の映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- i.LINKでDV入力された画像(65ページ)を出力することはできません。
- 同じテープにHDV規格とDV規格の映像を混在させたときに起こる症状で、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直す。

次のページへつづく➡

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影したテープを4:3テレビで見るときに起こる現象で、基本設定メニューの[TVタイプ]を設定して再生する(57ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

ダビング、編集、外部機器接続について

つないだ機器(外部入力)の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機でズームできません(26ページ)。

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- A/V接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[画面表示出力]を[パネル]にする(58ページ)。

A/V接続ケーブルを使ってダビングができない。

- A/V接続ケーブルでつないだ機器から外部入力することはできません。
- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。
  A/V接続ケーブルが他機の入力端子へつながれているか確認する。

ダビング編集中、i.LINKケーブルを接続しているのに、モニターに画像が出ない、画像が乱れる。

- 接続する機器に合わせて基本設定メニューの[ビデオ HDV/DV]を正しく設定する(54ページ)。
- 接続する機器がHDV1080i方式に対応していない場合は、HD(ハイビジョン)画質でダビングできません(62ページ)。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDV規格で撮影した画像をDV規格にダウンコンバートして、SD(標準)画質でダビングする(62ページ)。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってダビングができない。

- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。

他機でアフレコした音声が聞こえない。 DV

- [音声ミックス]を[ST1](オリジナルテープ音声)側から最適な音声になるまで調節する(55ページ)。

テープから"メモリースティック デュオ"へ静止画を取り込めない。

- 繰り返しダビングしているなど記録状態の悪いテープは、録画できなかったり、乱れた画像が記録されたりすることがあります。

パソコンとの接続について

本機がパソコンに認識されない。 USB i.LINK

- 「Picture Motion Browser」をインストールする(70ページ)。
- キーボード、マウス以外で、パソコンの(USB)端子につながれている他の機器を取りはずす。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう1度パソコンと本機をつなぐ。

Macintoshで付属のソフトウエア、「Picture Motion Browser」が使えない。

- 「Picture Motion Browser」はMacintoshでは使えません。

同時に使えない機能一覧

機能によっては一緒に使えないものがあります。下表は、同時に使えない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下の設定時
逆光補正	[打ち上げ花火]、[スポット測光]、[カメラ明るさ]の[マニュアル]
[シーンセレクション]	NightShot、[テレマクロ]、[SUPER NS]、[シネマチックエフェクト]、[オールドムービー]、[COLOR SLOW S]
[スポット測光·フォーカス]	NightShot、[SUPER NS]、[シネマチックエフェクト]、[シーンセレクション]
[スポット測光]	NightShot、[SUPER NS]、[シネマチックエフェクト]
[カメラ明るさ]	NightShot、[SUPER NS]、[シネマチックエフェクト]
[ホワイトバランス]	NightShot、[SUPER NS]
[シャープネス]	[シネマチックエフェクト]
CAM CTRLダイヤルの[シャッタースピード]	NightShot、[SUPER NS]、[シネマチックエフェクト]、[オールドムービー]、[なめらかスロー録画]
[AEシフト]	[打ち上げ花火]、[カメラ明るさ]の[マニュアル]、[シネマチックエフェクト]
[スポットフォーカス]	[シーンセレクション]
[テレマクロ]	[シーンセレクション]、テープ撮影中
[COLOR SLOW S]	NightShot、[シーンセレクション]、[シャッタースピード]の[マニュアル]、[SUPER NS]、[フェーダー]、[デジタルエフェクト]
[ヒストグラム]	[デジタルズーム]、[デジタルエフェクト]、日付時刻表示中
[デジタルズーム]	[テレマクロ]
[フェーダー]	[キャンドル]、[打ち上げ花火]、[SUPER NS]、[COLOR SLOW S]、[デジタルエフェクト]
[デジタルエフェクト]	[キャンドル]、[打ち上げ花火]、[SUPER NS]、[COLOR SLOW S]、[フェーダー]
[デジタルエフェクト]の[オールドムービー]	[シーンセレクション]、[ピクチャーエフェクト]、[ワイド切換]の[4:3]
[デジタルエフェクト]の[シネマチックエフェクト]	[シーンセレクション]、[スポット測光]、[カメラ明るさ]の[マニュアル]、[AEシフト]が0以外のとき、[ピクチャーエフェクト]、[ワイド切換]の[4:3]

使えない機能	以下の設定時
[なめらかスロー録画]	[キャンドル]、[打ち上げ花火]、[シャッタースピード]の[マニュアル]、[SUPER NS]、[COLOR SLOW S]、[デジタルエフェクト]、[ピクチャーエフェクト]

- [カラーバー]を設定しているときは、表中の「使えない機能」を使うことができません。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□

- "インフォリチウム"バッテリーHシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリーHシリーズを使う（91ページ）。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（10ページ）。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。 バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:21:□□

- 結露している。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す（93ページ）。

C:22:□□

- ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする（94ページ）。

C:31:□□/C:32:□□

- 上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう1度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください（93ページ）。
- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう1度操作し直す。
- カセットを交換する。リセットボタン（103ページ）を押してからもう1度操作し直す。

E:61:□□/E:62:□□/E:91:□□/E:92:□□

- 修理が必要なため、ソニーの相談窓口（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-1001（ファイル関連の警告）

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル（89ページ）。

（バッテリー残量に関する警告）

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5～10分でも警告表示が点滅することがある。

（結露の警告）*

- カセットを取り出し、電源をはずして、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する（93ページ）。

（"メモリースティック　デュオ"関連の警告）

- "メモリースティック　デュオ"が入っていない（16ページ）。

（"メモリースティック　デュオ"フォーマット関連の警告）*

- "メモリースティック　デュオ"が壊れている。
- "メモリースティック　デュオ"が正しくフォーマットされていない（49、89ページ）。

（非対応"メモリースティック　デュオ"関連の警告）*

- 本機では使えない"メモリースティック　デュオ"を入れた（89ページ）。

（バッテリーの温度に関する警告）

- バッテリーが高温になっている。 バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

（バッテリーの温度に関する警告）

- バッテリーが低温になっている。 バッテリーを交換するか、バッテリーを暖かいところに置く。

（テープ関連の警告）

遅い点滅

- テープ残量が5分を切った。
- カセットが入っていない。*
- カセットが誤消去防止状態になっている（88ページ）。*

速い点滅

- テープが終わっている。*

≜（テープを取り出す必要がある警告）*

遅い点滅

- カセットが誤消去防止状態になっている（88ページ）。

速い点滅

- 結露している（93ページ）。
- 自己診断表示が表示されている（84ページ）。

（画像消去に関する警告）*

- 画像が消去できないようになっている（68ページ）。

（"メモリースティック　デュオ"誤消去防止に関する警告）*

- "メモリースティック　デュオ"が誤消去防止状態になっている（89ページ）。

次のページへつづく➡

ϟ(フラッシュ関連の警告)

遅い点滅
- 充電中

速い点滅
- 自己診断表示が表示されている(84ページ)。*
- フラッシュに異常がある。

* 警告表示が出るときに、「操作音」が鳴ります(58 ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

ちょっと一言
- [OK]が表示されているときは、タッチすると、メッセージが[ⓘ]になることがあります。[ⓘ]をタッチすると、再びメッセージが表示されます。

■ 結露

結露しています カセットを取り出してください(93ページ)

結露しています 約1時間放置してください(93ページ)

■ カセット/テープ

カセットを入れなおしてください(15ページ)
- テープの損傷などがないかも確認する。

カセットの誤消去防止ツマミを確認してください(88ページ)

■ "メモリースティック　デュオ"

メモリースティックを入れなおしてください(16ページ)
- "メモリースティック　デュオ"を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは"メモリースティック　デュオ"が壊れている可能性があるので交換する。

このメモリースティックはフォーマットが違います
- "メモリースティック　デュオ"のフォーマットを確認し、必要ならばフォーマットする(49、89ページ)。

メモリースティックのフォルダがいっぱいです
- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダ消去はできません。
- フォーマットするか(49ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

■ デュアル記録

静止画の記録ができませんでした
- デュアル記録したときは、テープ撮影を終了して"メモリースティック　デュオ"への記録が完了するまで、本機から"メモリースティック　デュオ"を抜かないでください(21ページ)。

■ PictBridge対応プリンター

接続先を確認してください
- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう 1 度つなぐ。

プリントできません　プリンターを確認してください
- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう 1 度つなぐ。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50Hz/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るには HDV1080i

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るには、HDV1080i方式対応のテレビ（またはモニター）とコンポーネントケーブル、A/V接続ケーブルが必要です。
HDV1080i方式に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

DV規格で記録した再生画像をDV規格で見るには DV

DV規格で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

時差補正機能ついて

海外で使うとき、時間設定メニューの［時差補正］を選ぶと、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます（59ページ）。

使用上のご注意とお手入れ

HDV規格と記録・再生について

本機は、HDV規格とDV規格の両方の記録機能を搭載したビデオカメラレコーダーです。本機は、ミニDVカセットのみ使えます。
Mini DV マーク付きカセットを使ってください。
本機は、カセットメモリー機能には非対応です。

HDV規格とは

DVカセットにデジタルハイディフィニション（HD）映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式です。
本機では、有効走査線数1,080本のインターレース方式（1080i、画素数1,440×1,080ドット）を採用しています。
記録時の映像ビットレートは約25Mbpsです。
デジタルインターフェースにi.LINKを採用し、HDVに対応するテレビやパーソナルコンピューターとのデジタル接続が可能です。

ちょっと一言

- HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーなどで採用されているMPEG2方式です。

再生について

DV規格とHDV規格の1080i方式の両方を再生できます。
本機ではHDV規格の720/30pで記録した画像を再生できますが、i.LINK端子（i HDV/DV端子）から出力することはできません。

無記録部分を作らないために

テープを再生したときは、次の撮影の前にエンドサーチ（28ページ）を行って撮影終了位置に戻します。

著作権保護信号について

■ 再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

■ 記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像/音声は本機で記録することはできません。このような映像/音声を記録しようとすると、液晶画面またはファインダーに[コピープロテクトされています　記録できません]が表示されます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

取り扱い上のご注意

■ 長い間使わないときは

本機からカセットを取り出して保管してください。

■ 間違って消さないために

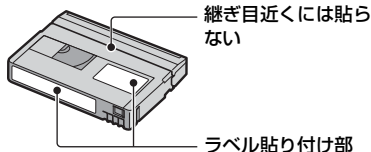
カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。

REC：録画できる。
SAVE：録画できない。
（誤消去防止状態）

■ ラベルは指定の位置に

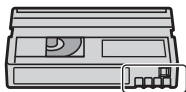
カセットにラベルは、指定の位置に正しく貼ってください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。

継ぎ目近くには貼らない

ラベル貼り付け部

■ カセットの使用後は

必ずテープを巻き戻してください(画像や音声が乱れる原因となります)。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

■ 金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されないことがあります。
カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

金メッキ部

“メモリースティック”について

“メモリースティック”(“Memory Stick”)は小さくて軽い大容量のIC記録メディアです。
“メモリースティック”のうち、本機で使えるのは次の表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
“メモリースティック デュオ”(マジックゲート対応)	○
“メモリースティック PRO デュオ”	○
“メモリースティック PRO-HG デュオ”	○*

* 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同等の4ビットパラレルデータ転送を行ないます。

- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録/再生に対応しておりません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。
- 本製品は“メモリースティック　マイクロ”(“M2”)に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- 静止画の圧縮形式:本機は、撮影した静止画データをJPEG(Joint Photographic Experts Group)方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。
- 静止画の画像のデータファイル名:
  – 本機の画面表示:101-0001
  – パソコンの画面表示:DSC00001.JPG
- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)した“メモリースティック”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 誤消去防止スイッチ付き“メモリースティック デュオ”では、先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
  – 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック　デュオ”にデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、“メモリースティック　デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック　デュオ”本体およびメモリースティック　デュオ　アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック　デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。

- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- メモリースティック　デュオスロットには、“メモリースティック　デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリースティック　デュオ　アダプターの使用について

- “メモリースティック　デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、メモリースティック　デュオ　アダプターが破損し、故障の原因となります。
- メモリースティック　デュオ　アダプターに“メモリースティック　デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ “メモリースティック　PRO　デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック　PRO　デュオ”は8GBまでです。

■ “メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されると、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”は、小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック　デュオ”が本機で使えないときは、49ページの手順にしたがい本機でフォーマット（初期化）をしてください。フォーマットすると“メモリースティック　デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  - パソコンで加工した画像データ
  - 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は"インフォリチウム"バッテリー(Hシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。"インフォリチウム"バッテリーHシリーズには InfoLITHIUM H マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

"インフォリチウム"バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
"インフォリチウム"バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター/チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の範囲で、⚡/CHG(充電)ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜くか、バッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  – バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
  – 高容量バッテリー「NP-FH70/FH100(別売り)」を使う。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
  高容量バッテリー「NP-FH70/FH100(別売り)」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5〜10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、 基本設定メニューで[自動電源オフ]を[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(59ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

次のページへつづく→

i.LINK（アイリンク）について

本機のHDV/DV端子はi.LINKに準拠した端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるHDV/DV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、次の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？

「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK端子付きビデオとつないでダビングする方法については64ページをご覧ください。
また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器（パーソナルコンピューターVAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。
なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMV、HDVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、本機とは対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめHDV/DV対応の有無をご確認ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

ご注意

- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINK接続する場合は、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いた状態で、i.LINKケーブルを抜き差ししてください。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製i.LINKケーブルを使ってください。
4ピン←→4ピン（HDV/DVダビング時）

x.v.Color(エックスブイ・カラー)について

- x.v.Colorとは、xvYCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長期間使用しないときは

- 3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、[◙⏏結露しています カセットを取り出してください]または[◙結露しています 約1時間放置してください]と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

■ 結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、⏏OPEN/EJECTつまみ以外は働きません。
電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても◙や⏏が点滅しなければ使えます。
結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。
カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドについて

HDV規格で記録したテープを再生すると、まれに再生中の画像と音声が一瞬（約0.5秒）停止することがあります。
テープやビデオヘッドに付着物があるなどしてHDV規格の信号をテープに正しく記録、再生できなかった時に起こる現象で、カセットによってはごくまれに、新品またはご利用期間が短いにもかかわらず発生することがあります。
再生時に起きたときは、テープを少し送って巻き戻すと問題なく見ることができる場合がありますが、記録時に起きたときは、その部分を修復することはできません。
このような事態を予防するためにもソニー製ミニDVカセットのご使用をおすすめします。また、大切な録画の前には、クリーニングテープのご使用をおすすめします。

- 以下のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間再生してビデオヘッドをきれいにしてください。
  – 再生画面の一部が動かない。
  – 再生画像が出ない。
  – 音声が途切れる。
  – 録画中に[⊗ ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください]が表示される。
  – HDV規格のときに以下の現象が起こる。

再生画像が一時停止する

再生画像が消える（青1色の画面）

  – DV規格のときに以下の現象が起こる。

四角いノイズが出る。

再生画像が消える（青1色の画面）

- ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

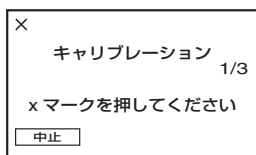
■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などで拭いてください。別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

■ タッチパネルの調節（キャリブレーション）について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

① POWER スイッチを「PLAY/EDIT」にする。
② P.メニュー→[メニュー]→ 基本設定 →[キャリブレーション]→ OK をタッチ。

×
キャリブレーション 1/3
x マークを押してください
中止

③ “メモリースティック　デュオ”の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを押す。
×マークの位置は変わります。

解除するには手順③で[中止]をタッチ。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

ご注意

- 液晶画面を外側に向けたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類の使用。
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
  - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを入れないままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にして24時間以上放置する。

“メモリースティック　デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック　デュオ”内のデータは完全に消去されないことがあります。“メモリースティック　デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。
また“メモリースティック　デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック　デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

録画方式（HDV）	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録画方式（DV）	回転2ヘッドヘリカルスキャン
静止画記録方式	Exif Ver.2.2*[1]
録音方式（HDV）	回転ヘッド MPEG-1 Audio Layer2 16ビット48kHz（ステレオ） 転送レート 384kbps
録音方式（DV）	回転ヘッド 12ビット32kHz （ステレオ1、ステレオ2） 16ビット48kHz（ステレオ）
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式 1080/60i方式
使用可能カセット	Mini DV マークのついたミニDVカセット
テープ速度（HDV）	約18.812mm/秒
テープ速度（DV）	SP：約18.812mm/秒 LP：約12.555mm/秒
録画/再生時間（HDV）	60分（DVM60使用時）
録画/再生時間（DV）	SP：60分（DVM60使用時） LP：90分（DVM60使用時）
早送り、巻き戻し時間	バッテリー使用時： 約2分40秒（DVM60使用時） ACアダプター使用時： 約1分45秒（DVM60使用時）
ファインダー	電子ファインダー：カラー
撮像素子	6.3mm（1/2.9型）CMOSセンサー 記録画素数：静止画時最大610万画素相当*[2]（2 848 × 2 136）（4：3モード） 総画素数：約320万画素 動画時有効画素数（16：9モード）：約228万画素 動画時有効画素数（4：3モード）：約171万画素 静止画時有効画素数（16：9モード）：約228万画素 静止画時有効画素数（4：3モード）：約304万画素
ズームレンズ	カール ツァイス　バリオゾナーT＊ 10倍（光学）、20倍（デジタル） f=5.4～54mm 35mmカメラ換算では 「CAMERA-TAPE」時： 40～400mm（16:9モード） （4:3モードでは49～490mm） 「CAMERA-MEMORY」時： 40～400mm（16:9モード） （4:3モードでは37～370mm） F1.8～2.9 フィルター径37mm
色温度切り換え	［オート］、［ワンプッシュ］、 ［屋内］（3 200K）、 ［屋外］（5 800K）
最低被写体照度	5 lx（ルクス）（［オートスローシャッター］［入］、［シャッタースピード］1/30秒） 0 lx（ルクス）（NightShot時）

*[1] （社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。
*[2] ソニー独自のクリアビッドCMOSセンサーの画素配列と画像処理システムエンハンスドイメージングプロセッサーにより、静止画は表記の記載サイズを実現しています。

入/出力端子

A/V OUT端子	10ピン特殊コネクター 映像：1 Vp-p、75Ω Y出力　1Vp-p、75Ω C出力　0.286Vp-p、75Ω 音声：327mV（47kΩ負荷時）、出力インピーダンス2.2kΩ以下
コンポーネントビデオ端子	D1/D3映像：コンポーネントビデオ端子 Y：1Vp-p、75Ω P_B/P_R. C_B/C_R：±350mV、75Ω
HDMI OUT端子	HDMIコネクタ
ヘッドフォン端子	ステレオミニジャック（ø 3.5）
LANC端子	ステレオミニミニジャック（ø 2.5）
USB端子	mini-B
MIC入力端子	ステレオミニジャック（ø 3.5）

HDV/DV端子	i.LINK(IEEE1394　4ピンコネクター　S100)

液晶画面

画面サイズ	6.7cm(2.7型、アスペクト比16:9)
総ドット数	211 200ドット 横960×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力6.8V/7.2V DC端子入力8.4V
消費電力	ファインダー使用時、明るさ標準: HDV記録時 4.2W DV記録時　4.0W 液晶画面使用時、明るさ標準: HDV記録時　4.5W DV記録時　4.3W
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	−20℃〜+60℃
外形寸法	82×82×138mm (最大突起部を含む)(幅×高さ×奥行き) 82×82×138mm (突起部含む、付属バッテリーパックNP-FH60装着状態)
本体質量	約550g(本体のみ)
撮影時総質量	約650g(バッテリーNP-FH60、テープ(DVM60)含む。)
付属品	9ページをご覧ください。

ACアダプター　AC-L200/L200B

電源	AC100V〜240V、50Hz/60Hz
消費電力	18W
定格出力	DC8.4V *
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	−20℃〜+60℃
外形寸法	約48×29×81mm(最大突起部をのぞく)(幅×高さ×奥行き)
質量	約170g(本体のみ)

* その他の仕様については AC アダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH60

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	公称容量:7.2Wh(1 000mAh) 定格(最小)容量:7.2Wh (1 000mAh)
最大外形寸法	約31.8×33.3×45.0mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約80g
使用温度	0℃〜+40℃
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取りはずしてください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や"メモリースティック"などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

フラッシュ、ビデオライトご使用上の注意

- 点灯したまま放置しない。
- 使用中に紙や布などの燃えやすいものを近づけない。
- ビデオライトの点灯中及び消灯直後のランプに触らない。
- 指定以外のランプを使用しない。火災ややけどの原因になります。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュまたは、ビデオライトを使用しない。

フラッシュ、ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

次のページへつづく→

⚠注意 火災 感電

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

禁止

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

禁止

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

禁止

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

指示

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間続けて聞かない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与える事があります。呼びかけられたら返事が出来るくらいの音量で聞きましょう。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

- バッテリーパックは指定されたACアダプターや、バッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ボタン電池は充電しないでください。

禁止

⚠注意

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。

指示

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

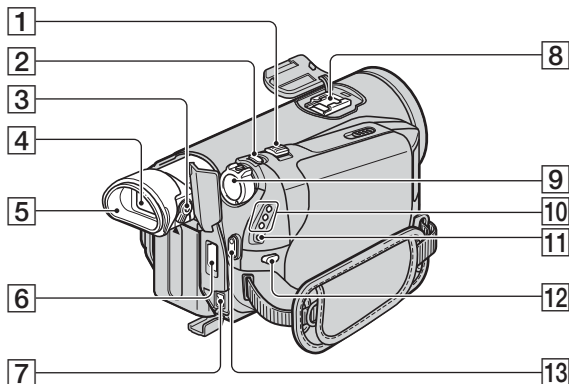
Li-ion

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

各部のなまえ

（　）内は参照ページです。

1 ズームレバー（21）

2 PHOTO（フォト）ボタン（20）

3 視度調整つまみ（14）

4 ファインダー（14）

5 アイカップ

6 HDMI OUT 端子（出力のみ対応）（30）
- モニターが対応している映像信号を読み取り、最適な出力形式を自動的に選択し、出力します。
- ［ステータスチェック］でHDMI出力の設定値を確認できます（57ページ）。

7 DC IN 端子（10）

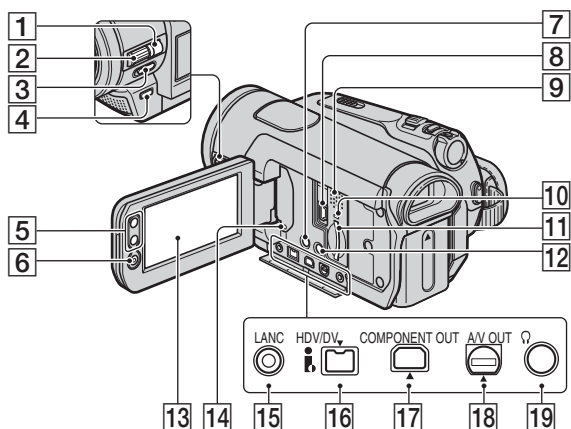
8 アクティブインターフェースシュー
Active Interface Shoe
専用マイクやフラッシュなどを使用時、本機から電源供給し、本機のPOWERスイッチに連動して、接続機器の電源入/切ができます。お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 外部機器を接続するときは、シューカバーを開けてください。
- 接続機器が外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取りはずすときは、ネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。
- 外部機器と接続すると、バッテリーの消耗は早くなります。
- フラッシュ（別売り）を付けたまま動画を撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 別売りのフラッシュと内蔵フラッシュは同時に使えません。

9 POWER（電源）スイッチ（13）

10 CAMERA-TAPE（撮る－テープ）、CAMERA-MEMORY（撮る－メモリー）、PLAY/EDIT（見る/編集）ランプ（13）

11 ϟ/CHG（充電）ランプ（10）

12 ϟ（フラッシュ）ボタン（22）

13 START/STOP（スタート/ストップ）ボタン（19）

1 MANUAL（マニュアル）ボタン（22）

2 CAM CTRL（カメラコントロール）ダイヤル（22）

3 NIGHTSHOT スイッチ（23）

4 （逆光補正）ボタン（23）

5 ズームボタン（21）

6 START/STOP（スタート/ストップ）ボタン（19）

7 DISPLAY/BATT INFO（画面表示/バッテリーインフォ）ボタン（11）

8 （USB）端子（68）

9 スピーカー

再生時の音声が聞けます。音量調節については、24ページをご覧ください。

10 アクセスランプ（16、88）

11 メモリースティック　デュオスロット（16）

12 EASY（かんたん操作）ボタン（17）

13 液晶画面/タッチパネル（4、14）

14 RESET（リセット）ボタン

日時を含めすべての設定が解除されます。（パーソナルメニューに設定した内容は解除されません。）

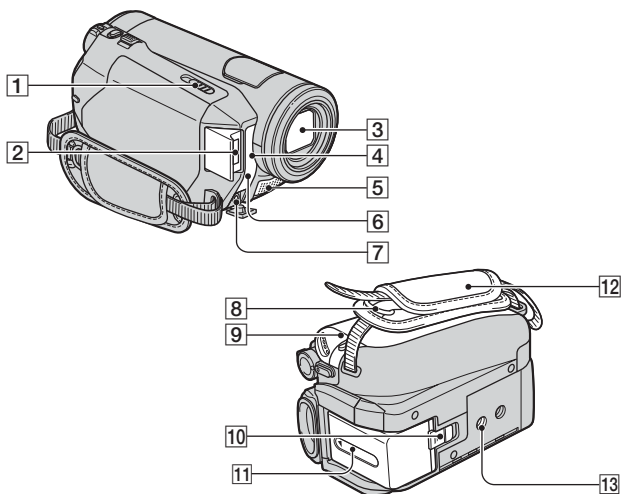
15 LANC 端子（青色）

ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、テープ走行などをコントロールできます。

16 HDV/DV 端子（i.LINK）（30、63、65、73）

17 COMPONENT OUT 端子（コンポーネント出力）（30）

18 A/V OUT 端子（出力のみ対応）（30、63）

19 （ヘッドホン）端子（緑色）

1 OPEN/EJECT つまみ（15）

2 フラッシュ発光部

3 レンズ（カールツァイスレンズ搭載）（4）

4 リモコン受光部 / 赤外線発光部

リモコン（105ページ）は、リモコン受光部に向けて操作する。

5 内蔵ステレオマイク

アクティブインターフェースシュー対応マイクをつないだときは、その音声が優先されます。

6 録画ランプ

- 録画時に赤く点灯します（58ページ）。
- テープやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

7 MIC（PLUG IN POWER）端子

外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイク（104ページ）よりも優先されます。

8 ショルダーベルト取り付け部

ショルダーベルト（別売り）を取り付ける。

9 カセットカバー（15）

10 BATT（バッテリー取りはずし）つまみ（10）

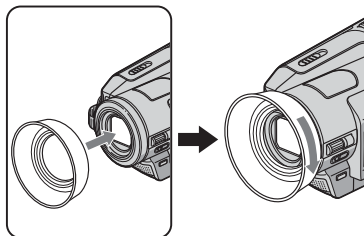
11 バッテリーパック（10）

12 グリップベルト（14）

13 三脚用ネジ穴

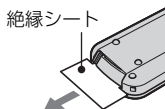
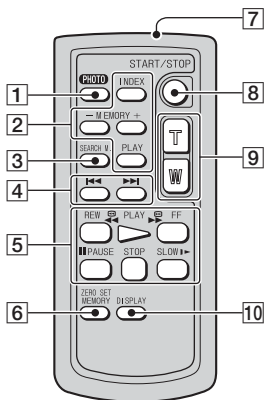
三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を三脚用ネジ穴に取り付ける。

レンズフードを取り付ける

本体のレンズフード取り付け部に合わせ、レンズフードを矢印の方向に回す。

取りはずすには

レンズフードを上記の矢印と反対方向に回してゆるめる。

- フラッシュや、Nightshot、Super Nightshotを使用するときはレンズフードを取りはずしてください。
  取り付けたまま使用すると、画面にレンズフードの影がうつりこみます。

ワイヤレスリモコン

1 PHOTO（フォト）ボタン（19）
押したときの画像が静止画として"メモリースティック　デュオ"に記録されます。

2 メモリー操作ボタン（INDEX（インデックス）ボタン *、－ / ＋ボタン、PLAY（メモリー再生）ボタン）（25）

3 SEARCH M.（サーチ選択）ボタン *（29）

4 ⏮ ⏭（前の画像 / 次の画像）ボタン *（29）

5 ビデオ操作ボタン（REW（巻戻し）ボタン、PLAY（再生）ボタン、FF（早送り）ボタン、PAUSE（一時停止）ボタン、STOP（停止）ボタン、SLOW（スロー）ボタン）（24）

6 ZERO SET MEMORY（ゼロセットメモリー）ボタン *（28）

7 リモコン発光部

8 START/STOP（スタート/ストップ）ボタン（17、19）

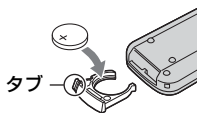
9 ズームボタン（21、26）

10 DISPLAY（画面表示）ボタン（14）

* かんたん操作中は働きません。

ご注意
- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。
- 本体前面のリモコン受光部に向けて操作してください（104ページ）。

リモコンの電池を交換するには

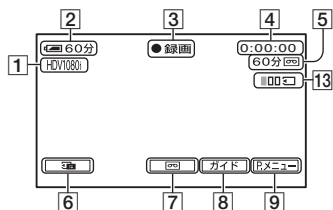
① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。
② ＋面を上にして新しい電池を入れる。
③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

ご注意
- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示

動画を撮影中

静止画を撮影中

動画を再生中

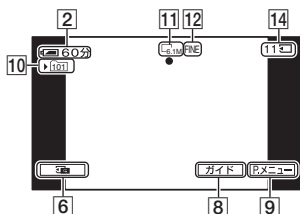
静止画を再生中

1 録画フォーマット（HDV1080iまたはDV）（55）

録画フォーマットがDVのときは、録画モード（SPまたはLP）も表示されます。

2 バッテリー残量の目安

3 撮影状態（[スタンバイ]/[● 録画]）

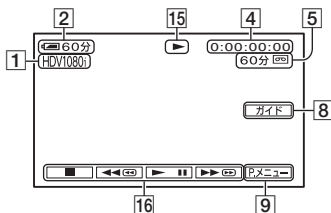
4 撮影中：テープカウンター（時：分：秒）
再生中：タイムコード（時：分：秒：フレーム）

5 テープ残量の目安（58）

6 "メモリースティック　デュオ"静止画レビューボタン（20）

"メモリースティック　デュオ"が入っているときに表示されます。

7 エンドサーチ / レックレビュー画面切り換えボタン（28）

8 ガイドボタン（27）

9 パーソナルメニューボタン（36）

10 記録先のフォルダ（49）

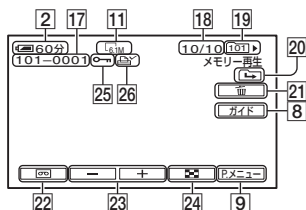
11 画像サイズ（47）

12 画質（[FINE]または[STD]）（47）

13 記憶枚数表示（21）

14 "メモリースティック　デュオ"表示と記録可能なおよその枚数

ちょっと一言

- 撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。
これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に[日時/カメラデータ表示]として確認できます（58ページ）。

15 テープ走行表示

16 ビデオ操作ボタン（24）

17 データファイル名

18 再生中の画像番号 / フォルダ内の合計枚数

19 再生フォルダ（49）

20 前後フォルダ表示

"メモリースティック　デュオ"内に複数のフォルダがあるとき、フォルダ内の最初/最後の画像になると表示されます。

- ：［ − ］で前フォルダへ
- ：［ ＋ ］で次フォルダへ
- ：［ − ］/［ ＋ ］で前/次フォルダへ

21 画像消去ボタン（67）

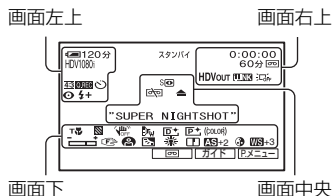
22 テープ再生切り換えボタン（25）

23 前の画像 / 次の画像ボタン（25）

24 インデックス表示ボタン（25）

25 プロテクト（68）

26 プリントマーク（67）

設定を変更したときの表示

画面左上

表示	意味
HDV1080i DV	録画フォーマット（55）
16b	音声モード*（55）
SP LP	録画モード*（55）
	セルフタイマー録画（46）
4:3	ワイド（16:9）切換*（55）
Q.REC	クイック録画**（59）
	インターバル静止画記録（50）
	フラッシュ/赤目軽減（44）

画面右上

表示	意味
HDVIN DVIN	HDV入力/DV入力（65）
HDVOUT DVOUT	HDV出力/DV出力（30、64）
i.LINK	i.LINK接続（30、64、65、71）
→0←	ゼロセットメモリー（28）
all 1	スライドショー（50）
OFF	液晶バックライト 切（14）

画面中央

表示	意味
	Color Slow Shutter（45）
	PictBridge接続中（68）
	警告（84）
	NightShot（23）
S	Super NightShot（45）

画面下

表示	意味
AS	AEシフト（43）
WS	WBシフト（43）
P	ピクチャーエフェクト（51）
D	デジタルエフェクト（51）
	手動フォーカス（43）/スポットフォーカス（43）/スポット測光・フォーカス（41）
	シーンセレクション（40）
	シャープネス（42）
	逆光補正（23）
	ホワイトバランス（41）
OFF	手ブレ補正（46）
	ゼブラ（45）
T	テレマクロ（44）
	カメラ色のこさ（43）
W T	コンバージョンレンズ（46）
(COLOR)	X.V.COLOR（47）
	フレキシブルスポット測光（41）/カメラ明るさ（41）/スポット測光・フォーカス（41）
S	シャッタースピード（42）

画面下（つづき）

表示	意味
PEAK ING	ピーキング（44）

*　DV規格のときのみ設定できます。
** HDV規格のときのみ設定できます。

その他の表示

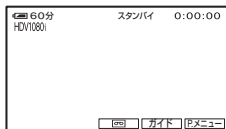
表示	意味
[i]	お知らせメッセージ（86）

ちょっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

画面表示を確認する（表示ガイド）

画面に出ている表示の意味を簡単に確認できます。

① ［ガイド］→［表示ガイド］をタッチ。

② 確認したい表示の入っているエリアをタッチ。

エリアにある表示の意味が一覧で表示されます。確認したい表示が見つからないときは、[▲]/[▼]をタッチして表示させてください。

終了するには、［終了］をタッチ。

ご注意

- ［表示ガイド］で確認できない画面表示もあります。

ちょっと一言

- [P.メニュー]→［表示ガイド］をタッチしても操作できます。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

数字

各部のなまえ・索引

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、“MEMORY STICK”、“メモリースティック　デュオ”、“MEMORY STICK DUO”、“メモリースティック PRO　デュオ”、“MEMORY STICK PRO DUO”、“メモリースティック　PRO-HG　デュオ”、“MEMORY STICK PRO-HG DUO”、“メモリースティック マイクロ”、“マジックゲート”、“MAGICGATE”、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート　メモリースティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート　メモリースティック　デュオ”はソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- i.LINK、i.はソニー株式会社の商標です。
- Mini DV Digital Video Cassette は商標です。
- “x.v.Color”はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル　コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Readerは、Adobe System Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア（Picture Motion Browser）のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間:月～金 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

●修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間:月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX（共通）:0120-333-389

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

> 登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
> 詳しくは下記のURLをご覧ください。
> http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙 70%以上の再生紙と、
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキ
を使用しています。
Printed in Japan

SONY
HANDYCAM
HDR-HC9